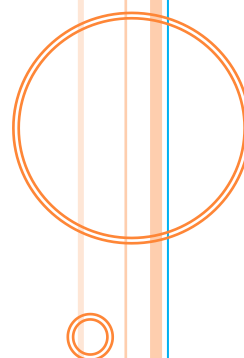


平成29年度

南部町教育委員会の事務の 点検及び評価報告書

《 平成 28 年度実績 》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育に関する事務が南部町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価し報告するものです。



目 次

○まえがき	P. 2
○点検・評価アドバイザーによる意見	P. 3～5
○点検及び評価の概要	P. 6
○事務事業の点検及び評価とは	P. 7
○南部町教育方針	P. 8～12
1. 学校教育指導の方針と重点	P. 9～11
2. 社会教育指導の方針と重点	P. 11
3. 文化財保護行政の方針と重点	P. 12
4. 学校給食重点目標	P. 12
○教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧表・・・	P. 13～15
○事業毎個別評価の観点	P. 16
○事業毎個別評価表	P. 17～55
○教育委員会活動の状況	P. 56～59
1. 教育委員会委員構成	P. 56
2. 教育委員会の活動概要	P. 56～57
3. 教育委員会会議	P. 59～60
○教育委員会事務局の組織の状況	P. 61～64
1. 教育委員会機構図	P. 61
2. 教育委員会事務分掌	P. 62～64
3. 教育関係予算の状況(決算)	P. 65
○町立小・中学校の「特色ある学校経営事業」の目的と実績・・・	P. 66～77

平成29年度

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書

《 平成 28 年度実績 》

◆ まえがき

南部町教育委員会では、「豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、心身ともに健康で豊かな情操と優れた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努め、学習環境の整備に取り組んでいます。

こうした取り組みは、これまでも広報誌などを通じて町民の皆様にお知らせしてきたところですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に報告するとともに、町ホームページに掲載し公表をしています。

このため、南部町教育委員会では、今後の効率的で効果的な教育行政を推進し、町民の皆様へ説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者2名の方々にアドバイザーになっていただき、意見を伺いながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、このたび、その結果を報告書としてまとめました。

南部町教育委員会では、今後も「個を生かし生きる力と学ぶ力や夢をはぐくむ学校教育の推進」「生きがいのある人生と、豊かで住み良い地域社会を実現する社会教育の推進」「未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用」を目指し、地域の伝統と特性を生かした教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 11 月

南部町教育委員会

平成28年度の教育委員会の事務事業について、5回にわたり各担当者とのヒアリングを実施し点検し、評価を頂きました。

総評として、両アドバイザーから、つぎの様なご意見を頂きました。

点検・評価アドバイザーによる意見（平成28年度分）

南部町教育委員会事務の点検・評価対象の56事業は、当町の児童生徒及び町民の将来を担うものであり、21世紀の南部町を支える基盤となるものと考えます。南部町教育方針の「教育は人づくり、明日を担う人を育て一人一人の個性を活かすまちづくり」という基本理念を思い起こしていただきたいと思います。児童生徒の知・徳・体の調和のとれた力である「生きる力」の育成や、広い視野を持ち郷土の発展に貢献することのできる「品性豊かな町民」の育成はすべて“人づくり”にかかっています。

以下、担当部署ごとに所見を述べさせていただきます。

1 学校教育について

- (1) 「学校施設管理事業」について、「築25年以上経過した学校施設については、部分的補修ではなく、施設の全面改修工事の実施を検討する必要がある」と方向性に示されている通り、児童生徒の教育環境整備のため、計画的に実現していただきたいと思います。
- (2) 「語学指導外国語青年招致事業」について、外国語指導助手を現在の2名体制から、増員し3名体制にしたいと思います。新学習指導要領のもとで、2020年度から小学校5・6年生は英語が「正式教科」（小学校3年生からは「英語に親しむ活動」）となります。児童生徒の英語指導充実のため、全面実施に入る前から増員が必要と考えます。もちろん、担当教員の資質向上はいうまでもありません。

2 社会教育について

- (1) 「南部ふるさと塾」について、関東近辺からの参加者もあり歴史講座の参加者数としては全国的に有数の規模であることや、当事業の書籍化の話があるなど、南部藩について興味関心のある方々が非常に多いことを伺わせるものです。これもひとえに、関係各位の熱意や努力の賜物であると思っています。
- (2) 社会教育事業の中で27年度実績と比較し5つの事業を廃止し、新たに2つの事業を設けています。例えば、新規事業の「岩手県山田町マリンスポーツ体験交流会」は、東日本大震災で休止状態になっていたものを5年ぶりに再開したということです。参加者のニーズやアンケート調査、その時々々の社会情勢の中での必要性の有無で、臨機応変に事業を展開していくことが肝要と思いました。

3 文化財保護行政について

- (1) 平成29年4月の「案内所」のオープンや土地公有化事業など、「史跡聖寿寺館跡」を平成32年度までに史跡公園化する計画が着々と進んでいることを実感しました。児童生徒や町内外の方々に、楽しみながら郷土の歴史が学べる史跡公園を期待します。
- (2) 「伝統芸能・技術の継承事業」について、伝統芸能の保存や次世代への継承は必要不可欠のものであり、バックアップ体制や事業の助成・継続をぜひともお願いしたいものです。

4 学校給食について

- (1) 食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせる上で、学校給食の果たす役割はきわめて重要であると考えます。毎日、給食の供給に努めておられる関係者の皆様に感謝を申し上げます。今後とも、食材の安全性や児童生徒の食のアレルギー等に十分配慮し、より安全・安心なおいしい給食の供給に精進していただければと思います。

※ 事業毎個別評価表について

評価表の項目に「概要」「実績」「成果」「評価と方向性」とありますが、「成果」「評価と方向性」の項目を、「成果と課題」「方向性」にすればどうでしょうか。どの事業にも成果があり、多少なりとも課題があると考えます。課題をはっきりさせることで次年度の方向性もしっかり見えてくるのではないのでしょうか。

結びになりますが、平成28年度分の事業も多くの関係者の並々ならぬ努力により実践されていることや、限られた予算の中でそれぞれの事業が効果的に展開されていることに改めて敬意を表したいと思います。

平成29年11月8日

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー
中 村 正

点検・評価アドバイザーによる意見（平成28年度分）

今年の点検・評価作業は、9月27日から始まり5回開催し、担当職員から各事業について、概要、実績等の説明をお伺いしました。

平成28年度の事務事業も、「教育方針」の学校教育・社会教育の「指導の方針と重点」、「文化財保護行政の方針と重点」や「学校給食重点目標」などに基づいて、効果的に展開されているものと思います。

各事務事業は、事業毎個別評価表によって、各職員自らが各事業を詳細に把握し、実績や成果を認識し、さらに教育委員会による評価をしていただき、次年度以降の事業実施に活かされ、今後の教育行政の振興に結びつくものと思います。

今回は、その説明を受けた中から感じたことを述べてみたいと思います。

「事業の評価」については、「計画性、効率性、効果性、妥当性」を考慮し、評価しているものと思います。また、「総合評価」については、拡充、継続、改善・縮小、統合あるいは休止・廃止について評価を行っているものと思います。

このように考えると、評価表にある「評価と方向性」の記載内容は、実績・成果に対して職員自身がどのように考え、課題・改善点を見つけ出し明確にすることで、事業を続けるうえでの翌年度以降の方向性がより見えてくるのではないかと思います。

そのためには、「評価と方向性」に記載する内容は、はっきりとした課題・改善点等を記載するとともに、今後どのようにしていくのかを記載するようにお願いしたいと思います。

次に、各事務事業に関連して、個別に意見を述べさせていただきます。

「学校教育関係」について

- ・スクールサポーター支援員配置事業は、すでに全 12 校に配置され、学級担任教諭を支援することで児童生徒が授業や諸活動に集中できているが、配置希望のある学校への増員も検討し、更に事業効果を出していただきたい。
- ・学校施設管理事業は、普段児童生徒が利用する施設のため、老朽化している学校では不安を感じる箇所もあると思われるので、安全に、安心して学べる空間を確保していくため、計画的な施設整備を行っていただきたい。
- ・語学指導外国語青年招致事業は、28 年度途中から指導助手の確保を民間委託に移行したことから、英会話指導に対する評価を行えるようになり、充実した指導を受けることができ、授業の質の向上や学力向上につながっているが、現在の 2 名では全校の指導は難しいと思うので、指導体制の充実を図っていただきたい。

「社会教育関係」について

「社会教育」では、参加者の要望を集約しながら多くの事業を展開しておりますが、以前、評価アドバイザーが、「住民に自覚がないが学習しなければならない必要課題（交通問題や高齢化社会問題など）と、住民が学習したい要求課題（英会話・手芸など）を良く勘案し、把握して事業に取り組むことが重要」と提案しています、職員の配置や体制が整っていない中ですが、検討する時期に来ていると思います。

「社会体育」では、生涯スポーツの振興を重点項目と取り上げております。体育設備の整備充実と活用促進、スポーツ・レクリエーション活動の普及促進を目標に掲げ、町民運動会、総合優勝制スポーツ大会、ニュースポーツフェスティバルを開催し、多くの町民が健康で、生涯スポーツを楽しめる環境整備を進めていただきたい。

「文化財保護行政」について

「文化財保護」では、史跡聖寿寺館跡を整備するために、南部学会研究会等で、南部町の歴史文化遺産を発信するほか、史跡発掘、公園の整備などに向け、多くの事業を展開しており、見学、発掘体験などを行っているので、計画とおり史跡公園の整備が行われていくものと思います。

「学校給食」について

「学校給食」では、より安全、安心のおいしい給食を目指す・栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかるなど 5 つの重点目標に掲げています。給食の提供では、安心安全の給食のため、学校給食衛生管理基準及び大量調理マニュアルを遵守し、バランスのとれた食事のために、学校給食摂取基準に基づく栄養管理と食の自立のための食育を行うとともに、地産地消を心がけた給食を実施していることを評価したいと思います。今後は、食アレルギー対策も考えた給食についても検討していただきたい。

終わりに、平成 28 年度事業を担当されました各職員が、事業の主旨・方針を良く理解し、限られた予算の中で、学校教育及び社会教育の各事業に取り組み、町民のために努力されていることに対して、敬意を表したいと思います。

平成 29 年 11 月 8 日

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー
有 谷 守

点検及び評価の概要

1 経 緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成19年法律第97号)により、平成20年4月1日から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出、公表することとされました。

2 点検・評価の対象

南部町教育方針にある教育施策の重点に即して行われた事業

3 点検・評価の方法〈内部評価〉

(1) 事業担当部署による点検及び評価

- ・ 各事業担当部署が実施状況をまとめて評価

(2) 教育委員会による点検及び評価

- ・ 各事業担当部署が評価したものを、事業の妥当性について評価

4 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者等を「点検・評価アドバイザー」として委嘱し、点検・評価の実施方法や内容について意見をいただいております。

5 点検・評価アドバイザー

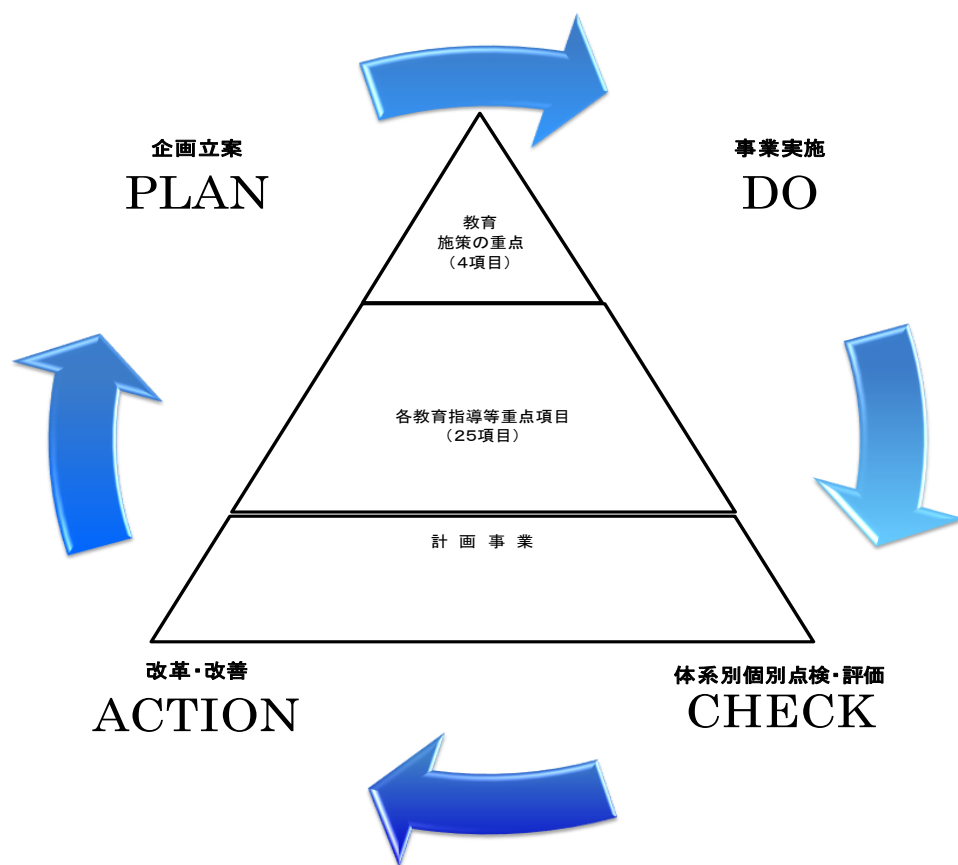
氏 名	団 体 ・ 役 歴
中 村 正 氏	元南部町立剣吉小学校長
有 谷 守 氏	元南部町教育委員会・名川B&G海洋センター所長

(1) 点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・ 第1回会議 平成29年10月10日開催
- ・ 第2回会議 平成29年10月17日開催
- ・ 第3回会議 平成29年10月24日開催
- ・ 第4回会議 平成29年10月30日開催
- ・ 第5回会議 平成29年11月 6日開催

事務事業の点検及び評価とは

事務事業の評価は、教育委員会が行っている事業について、点検と評価を行い、必要に応じて事業の取り組み方法等を見直して、今後の仕事の取組みにいかしていくものです。



事務事業の企画立案(PPLAN)、事業実施(DO)、点検・評価(CHECK)、改革・改善(ACTION)を継続して行うことで、より効果的で質の高い事務事業の実現を図っていきます。

南部町教育方針

◇ 基本理念

教育は人づくり、明日を担う人を育て一人一人の個性を活かすまちづくり

◇ 基本方針

南部町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所、関係機関、諸団体との連携を図り、豊かで潤いのある生涯学習の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かな情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努める。

◇ 教育目標

1. 町民の連携意識を高めながら、豊かな心と広い視野を持ち、誇りと愛着を持って郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成に努める。
2. 社会の変化に対応しながら、自分の目標を持ち、豊かな情操と創造力・実践力を磨きながら生涯学び続け、積極的に社会参加のできる町民の育成に努める。
3. スポーツに親しみながら、自分の体力と健康に関心を持ち、自主的に健康で安全な生活を営むことのできる町民の育成に努める。

◇ 教育施策の重点

1. 学校教育においては、主体的な学習態度を育て、基礎的・基本的な知識や技能を習得させ思考力、判断力、表現力などを育み、夢や志の実現に向けた教育を推進する。
また、町内小中学校へは「特色ある学校づくり」のために町独自の支援を継続する。
2. 社会教育においては、学校と地域の協働による教育活動と家庭教育の充実に努める。また、文化活動においては、芸術文化活動の奨励や育成を図るとともに伝統文化の継承育成や未来に伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。
3. 社会体育においては、スポーツ活動の振興やニュースポーツの普及と実践化を図るとともに、日常生活での体力づくりを推進する。

【学校教育指導の方針と重点】

1. 方 針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く幼児児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

2. 重 点

(1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等に主体的・協働的に取り組み、確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア 基礎的・基本的内容に即した教材の工夫と教材研究の深化

イ 個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫

ウ 自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する力を身に付ける指導の工夫

エ 主体的・体験的な学習のための環境づくりの充実

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもつことができるよう、全教育活動を通じて道徳性の育成に努める。

ア 道徳教育を推進する指導体制の整備・充実

イ 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫

ウ 郷土を愛する心を育む指導の充実

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、望ましい集団や豊かな体験の中で互いの個性を認め合い、協力してよりよい生活や人間関係を築いていくことができるよう、自主的、実践的な態度の育成に努める。

ア 自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫

イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

ウ 児童の個性の伸長と触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

エ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫

(4) 体育、健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体としてとらえ、健やかな体を育む教育の推進に努める。

ア 運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実

イ 健康に関する知識を身に付け、自ら健康な生活を実践できる指導の充実

ウ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実

エ 安全に関する情報を正しく判断し、安全を確保することができる指導の充実

(5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応に努める。

ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協同指導体制の充実

イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実

ウ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

(6) キャリア教育の推進

一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質、能力、態度の育成に努める。

- ア キャリア教育指導体制の整備・充実
- イ 現在及び将来の生き方を考える指導・進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業観の育成

(7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の充実
- イ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ウ 個別の教育支援計画の作成と活用による関係機関と連携した支援の充実
- エ 交流及び共同学習による相互理解の促進

(8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間とのかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科等間の関連を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験学習の充実

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等の活用や言語活動の工夫・充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるICTの適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進
- エ 家庭や地域社会と連携した情報モラルに関する指導の推進

(11) 研修の充実

教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進に努める。

- ア 校内研修体制の整備・充実
- イ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- ウ 家庭や地域社会と連携した特色ある教育活動の研究・推進
- エ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

(12) 複式教育の充実

少人数の特性を生かし、一人一人の個性・能力の伸長を図るとともに、社会性の育成に努める。

- ア 学校運営・学級運営の創意工夫
- イ 複式指導の充実

(13) 幼児教育の推進

一人一人の子どもに質の高い幼児教育の提供を目指し、関係機関等との連携を図りながら、提供体制の推進に努める。

ア 幼保小連携体制の充実

イ 質の高い幼児教育のための研究・推進

(14) 教育環境の充実

一人一人の子どもが、安全・安心な学校生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、教育環境の充実に努める。

ア 学校施設の整備・充実

イ 実態に即した教育環境の研究

【社会教育指導の方針と重点】

1. 方 針

社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて、自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある人生と豊かで住みよい地域社会を実現する社会教育の推進に努める。

2. 重 点

(1) 社会教育推進体制の充実

ア 社会教育計画に基づく事業の展開・実践

イ 社会教育施設機能の充実と活用の促進

ウ 社会教育関係団体等への活動支援

(2) 学校、家庭、地域との連携及び協働による推進

ア 学校と地域との協働による教育活動の推進

イ 家庭教育支援及び学習活動の充実

ウ キャリア教育の推進

(3) 多様な学習機会の拡充

ア 青少年の豊かな人間性を育む学習活動の推進

イ 自主的な学習活動の支援と体制整備

ウ 読書活動の推進

(4) 多様な生涯スポーツの振興

ア 社会体育施設の整備と充実及び活用促進

イ スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進

ウ スポーツ・レクリエーション活動の普及促進

エ スポーツ関係団体の育成と活動の推進

【文化財保護行政の方針と重点】

1. 方 針

郷土に対する愛着と誇りを培い、うるおいのある町民生活を実現するため、未来へ伝える貴重な文化財の保存及び活用に努める。

2. 重 点

(1) 文化財の保護及び保存

- ア 国・県及び町の文化財指定の推進
- イ 指定文化財の保存及び防災等の支援
- ウ 文化財保護思想の普及及び啓発
- エ 国指定重要文化財「南部利康霊屋」及び国指定史跡「聖寿寺館跡」の保存管理
- オ 国登録有形文化財「田中家住宅主屋・米蔵・門」及び「村井家住宅主屋」の保存支援

(2) 文化財の整備及び活用

- ア 国・県及び町指定文化財の情報発信とPR活動の推進
- イ 史跡聖寿寺館跡の公有化及び発掘調査・整備と活用の推進
- ウ 南部氏関連史跡の調査及び研究の推進

(3) 伝統芸能及び技術の継承

- ア 伝統芸能の保存及び後継者の育成支援
- イ 伝統芸能の発表機会の充実
- ウ 子どもの伝統芸能伝承活動の推進

【学校給食重点目標】

- (1) より安全・安心のおいしい給食を目指す。
- (2) 栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかる。
- (3) 手作りの料理を心がける。
- (4) 伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。
- (5) 地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。

教育委員会事務事業一覧

◇学校教育指導の重点との関連

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
1	スクールサポーター支援員配置事業	17	学務課
2	スクールカウンセラー配置事業	17	〃
3	小学生国内交流事業	18	〃
4	教育支援委員会事業	18	〃
5	就学援助事業	19	〃
6	学校の芸術文化活動事業	20	〃
7	学校施設管理事業	20	〃
8	奨学金貸付事業	21	〃
9	特別支援教育就学奨励費補助事業	21	〃
10	中学生海外派遣事業	22	〃
11	語学指導外国語青年招致事業	22	〃
12	教職員研修事業	23	〃
13	幼稚園就園奨励費補助事業	23	〃

◇社会教育指導の重点との関連

14	家庭教育講座(おもしろ体験教室)	24	社会教育課
15	青年教室	24	〃
16	まべち笑楽校	25	〃
17	南部ふるさと塾	26	〃
18	学校と地域ネット推進事業	27	〃
19	成人式	28	〃
20	南部町文化賞・スポーツ賞表彰式	29	〃
21	南部七唄七踊り全国大会	29	〃

◇文化財保護行政の重点との関連

番号	事 務 事 業 名	ページ	担当課・所
22	文化財審議委員会議	30	社会教育課・ 史跡対策室
23	町内文化財パトロール事業	30	〃
24	南部学研究会	31	〃
25	奥州街道の整備・活用・普及事業	32	〃
26	国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理・公開活用	32	〃
27	史跡聖寿寺館跡調査整備委員会	33	〃
28	史跡聖寿寺館跡土地公有化事業	33	〃
29	史跡聖寿寺館跡整備事業	34	〃
30	史跡聖寿寺館跡の発掘調査	34	〃
31	史跡聖寿寺館跡の活用(見学・体験発掘・出前授業)	35	〃
32	伝統芸能・技術の継承事業	36	〃

◇社会教育指導の重点との関連

33	趣味の教室	37	公民館
34	アロマフィットネス講座	37	〃
35	英会話教室	38	〃
36	ルーシーダットン教室	38	〃
37	第10回町民運動会	39	体育館
38	第11回町民歩け歩け運動大会	39	〃
39	第6回総合優勝制スポーツ大会	40	〃
40	ニューススポーツinスクール	41	〃
41	ニューススポーツ移動教室	42	〃

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
42	転倒・寝たきり予防教室	43	B&G海洋センター
43	水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム	44	〃
44	B&G全国ジュニア水泳競技大会出場推進事業	45	〃
45	B&Gスポーツ大会青森県大会推進事業	46	〃
46	小学校水泳教室	47	〃
47	第3回南部町駅伝競走大会	48	〃
48	第24回青森県民駅伝競走大会実行委員会補助金事業	49	〃
49	岩手県山田町マリンスポーツ体験交流会	50	〃
50	ニュースポーツフェスティバル	51	〃
51	第32回うぐいすマラソン大会	52	〃

◇学校給食の重点目標

52	より安全・安心のおいしい給食を目指す。	53	学校給食センター
53	栄養バランスのとれた食事内容の充実を図る。	53	〃
54	手作りの料理を心がける。	54	〃
55	伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。	54	〃
56	地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。	55	〃

事業毎個別評価の観点

1. 事業の評価

事務事業の実績の評価は、南部町の教育の施策に基づいて、各事務事業の担当者が事務事業評価表を作成することにより行われます。評価の基準となる項目は、計画性・効率性・効果性・妥当性の4項目で検討され、次表の3段階で評価します。

- ・**計画性**：事業を必要とする社会的ニーズ、事業の進捗状況および終期の設定など事務事業が計画的に取り組まれているかを評価します。
- ・**効率性**：コストの節減効果、一人当たりの事業費の高低、類似事業との比較などにより効率性を評価します。
- ・**効果性**：総合計画実現への効果、目標とする成果に対する達成度を、経年的に把握することや、事業に対する町民のニーズ、計画段階からの町民参画、町民との協働など、町民の視点に立った事業となっているかを評価します。
- ・**妥当性**：町が実施主体になるべき事業か、他の事業と併せて実施することができないかなど、事務事業実施の妥当性を評価します。

項 目	目標達成度	効果性に対し
評価が高い事業	◎(期待どおり)	80%以上
評価が中位の事業	○(ほぼ達成)	60～80%
評価が低い事業	△(期待以下)	60%以下

2. 総合評価

総合評価は、1の「事業の評価」を踏まえ事務事業毎に今後の方向性を検討しています。

拡 充	対象の拡大や手段の充実により事業を拡充し、さらに成果の向上を図る。	A
継 続	現状の状態で成果があがっているため、効率化に努めながら事業を継続する。	B
改善・縮小	対象や手段の変更、手段の絞り込み等により見直しを図り、事業の適性化・コスト削減また成果の向上を図る。	C
統合あるいは 休止・廃止	事業目的の意義の低下または社会情勢の変化により、事業を一時的に休止・廃止するもの。または、目的が関連・類似する他の事業への整理・統合するもの。	D

スクールサポーター支援員配置事業		事業の評価 ◎										
(1)授業の充実		総合評価 B										
概要	教育上特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒に対し、学校生活上の支援や学習活動上の支援、相談活動などを行う支援員を小・中学校に配置する。											
実績	小中学校の通常学級に在籍する多動傾向や介助を必要とする児童生徒に、学級担任教諭を支援する目的として各校に1名ずつ配置した。なお、1名あたり年間で950時間程度の勤務とした。 <table border="1"> <tr> <td>配置校</td><td colspan="2">全12校（各1名）</td></tr> <tr> <td rowspan="3">事業費</td><td>小学校配置8名</td><td>8,936 千円</td></tr> <tr> <td>中学校配置4名</td><td>4,560 千円</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>13,496 千円</td></tr> </table>		配置校	全12校（各1名）		事業費	小学校配置8名	8,936 千円	中学校配置4名	4,560 千円	合 計	13,496 千円
配置校	全12校（各1名）											
事業費	小学校配置8名	8,936 千円										
	中学校配置4名	4,560 千円										
	合 計	13,496 千円										
成果	学級担任教諭を支援することにより目の行き届いた指導ができるようになり、全児童生徒が授業や諸活動に集中できるようになった。											
評価と方向性	全12校に配置し、教育上特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒への支援ができており、今後も継続して行く。特に配置希望のある学校へ増員をし支援ができるようにしたい。											

学務課関係 No.2

スクールカウンセラー配置事業		事業の評価◎						
(1)授業の充実、(5)生徒指導の充実		総合評価B						
概要	学校におけるいじめや不登校児童生徒の問題行動等の対応にあたり、臨床心理に関して高度で専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを配置、派遣し、教育相談体制の充実を図る。(県の事業)							
実績	児童生徒へのカウンセリング、教諭及び保護者に対するカウンセリングや助言・援助を行った。 <table><tr><td>派遣校</td><td>福地中・杉沢中・名川中・南部中 福地小・剣吉小</td></tr><tr><td>配置時間</td><td>430時間／年間</td></tr><tr><td>事業費</td><td>県費負担</td></tr></table>		派遣校	福地中・杉沢中・名川中・南部中 福地小・剣吉小	配置時間	430時間／年間	事業費	県費負担
派遣校	福地中・杉沢中・名川中・南部中 福地小・剣吉小							
配置時間	430時間／年間							
事業費	県費負担							
成果	児童・生徒・保護者また教師からの相談等に、効率的なカウンセリングができた。自主的に相談を受ける生徒が少しずつではあるが、以前より増えてきている。そのため、派遣校も前年より増えている。							
評価と方向性	カウンセラー配置校が増え、有効に活用され一応の成果が見られている。 カウンセラーは、1校に対し2～3年の継続が必要である。今後は配置されていない小学校に対しても活用が必要であるなら配置を検討する。							

小学生国内交流事業		事業の評価 ◎								
(1)授業の充実、(2)道徳教育の充実、(3)特別活動の充実		総合評価 B								
概要	南部氏の縁に結ばれた山梨県南部町の児童との交流を通して、ふるさとの歴史や自然等について、理解を深めるとともに、新しい時代の主役となる児童の友情や愛郷心を育むことを目的とし、訪問地ならではの体験やゲームなどをおとして交流を深める。									
実績	平成28年度は、山梨県南部町の児童が来町(青森県と山梨県で隔年交互訪問)し、交流ゲームやいかだづくり体験、聖寿寺館跡での発掘体験を実施して交流を深め、両町の歴史的なつながりや町の特色についての理解を深めた。 <table><tr><td>実施時期</td><td>7/27(水)～7/29(金)</td></tr><tr><td>当町参加児童</td><td>30名(5・6学年) 山梨県南部町参加児童 30名</td></tr><tr><td>事業費</td><td>420千円</td></tr><tr><td>当町参加者負担金</td><td>3千円／名(一般会計の雑入 90千円)</td></tr></table>		実施時期	7/27(水)～7/29(金)	当町参加児童	30名(5・6学年) 山梨県南部町参加児童 30名	事業費	420千円	当町参加者負担金	3千円／名(一般会計の雑入 90千円)
実施時期	7/27(水)～7/29(金)									
当町参加児童	30名(5・6学年) 山梨県南部町参加児童 30名									
事業費	420千円									
当町参加者負担金	3千円／名(一般会計の雑入 90千円)									
成果	青森県・山梨県南部町の計60名の児童が、様々な交流活動をおとして友情を育んだ。 また、南部氏ゆかりの歴史的建造物の見学や発掘体験を実施することで、両町のつながりについて理解を深め、愛郷心を育んだ。事業実施後は、青森県・山梨県南部町の参加者がそれぞれ作成した、思い出の記録集を参加者全員に配布するなど、交流事業終了後も相互に親交を深めることが出来た。									
評価と方向性	両町の歴史的なつながりを理解し、また愛郷心を育むことのできる、教育的効果の高い事業であるため、今後も継続の予定である。									

学務課関係 No.4

教育支援委員会事業		事業の評価◎
(1)授業の充実、(7)特別支援教育の充実		総合評価B
概要	幼児及び児童生徒について、専門的調査や検査を行って、就学期間等の適切な教育措置についての判断を行う。特別の支援を要する幼児及び児童生徒の就学に係る教育相談を実施する。	
実績	○ 判定件数 幼児 3件 児童 13件 生徒 4件 計 20件	
成果	幼児及び児童生徒の検査結果により、特別の支援を要する者の保護者に対して専門的な指導、助言を行い、保護者が適正な就学先を選択することができた。	
評価と方向性	保育園、幼稚園、小・中学校からの相談について、専門的な調査・検査を行って、各学校において保護者等への就学支援・相談業務を円滑に実施している。しかし、一部の保護者の中には、検査結果を受入れられない方もおり、学校・就学支援委員会の密な連携が必要である。また、今後の検査のあり方などを検討する必要がある。	

就学援助事業		事業の評価 ◎												
(1)授業の充実		総合評価 B												
概要	児童生徒に対し、学用品費・修学旅行費を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。 なお、給食費については、平成27年度から実施の給食費無料化に伴い、援助の対象から除いた。 H28年度 認定基準 ○ 要保護：生活保護受給者 ○ 準要保護：次のいずれかの措置を受けた者で、前年度の所得が生活保護基準額の 1.1 倍以下の世帯に属する者 - 生活保護受給停止または廃止 - 世帯全員が市町村民税非課税世帯 - 世帯全員が市町村民税の全額減免 - 世帯全員が国民年金保険料を全額免除 - 国民健康保険料(税)全額減免または徴収猶予 - 児童扶養手当の全額受給 - 世帯の経済状態が悪く、学校納付金の支払いが困難(収入指数 1.1 倍以下)													
実績	○ 要保護児童生徒 <table border="1"> <tr> <td>認定者数</td><td>小学生 5名</td><td>中学生 2名</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>53 千円</td><td>101 千円</td></tr> </table> ※要保護児童生徒の、援助対象は修学旅行費のみである。 ※要保護児童生徒に係る事業費の1/2以内で国庫補助金あり。 ○ 準要保護児童生徒 <table border="1"> <tr> <td>認定者数</td><td>小学生 88名</td><td>中学生 66名</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>2,491 千円</td><td>4,860 千円</td></tr> </table>		認定者数	小学生 5名	中学生 2名	事業費	53 千円	101 千円	認定者数	小学生 88名	中学生 66名	事業費	2,491 千円	4,860 千円
認定者数	小学生 5名	中学生 2名												
事業費	53 千円	101 千円												
認定者数	小学生 88名	中学生 66名												
事業費	2,491 千円	4,860 千円												
成果	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を適切に行うことができた。													
評価と方向性	義務教育の円滑な実施を図るために、学校及び関係課と連携し今後も継続して実施していく。													

学校の芸術文化活動事業		事業の評価 ○
(3) 特別活動の充実		総合評価 B
概要	文化庁の事業として実施されている「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業・派遣事業)」を活用し、小・中学校から希望を募り実施する。 本事業のうち派遣事業は、文化庁からの照会に対して、学校が事業内容を企画して・応募し、審査の結果により実施されるものである。	
実績	○ H28年度は、各学校に開催希望を募ったところ、以下の希望があり事業を開催した。 芸術家の派遣事業 茶道教室(福地小学校) 9/12(月)、11/14(月)、12/12(月) … 105 千円 えんぶり(杉沢小学校) 12/1(木)、1/27(金) … 70 千円 ※H28年度は巡回公演事業の実施はなし。	
成果	茶道教室や地域の伝統芸能「えんぶり」を体験したことで、児童ひとりひとりの感性を磨き、郷土愛を深めることができた。	
評価と方向性	文化庁の事業であるが、児童が文化芸術と接する貴重な機会を得ることができるため、今後もさらに体験する機会を作っていく必要がある。	

学務課関係 No.7

学校施設管理事業		事業の評価 ◎
(14) 教育環境の充実		総合評価 A
概要	小中学校の学校施設を良好に維持していくために、施設管理業務、維持補修及び改修工事を実施し、健全な学校生活環境の整備を行う。	
実績	小中学校の修繕及び施設整備工事の施工を実施した。 ・施設修繕 14,200 千円(小中学校 12 校の施設修繕) ・施設整備 183,467 千円(名久井小学校大規模改修工事)	
成果	計画した小中学校の修繕及び管理業務の他、施設整備工事を施工し、学校の環境整備が図られた。	
評価と方向性	施設の老朽化により必要な修繕・維持工事は実施している。 今後も、利便性向上のため修繕・維持工事を行っていく必要があるが、築 25 年以上経過した学校施設については、部分的補修ではなく、施設の全面改修工事の実施を検討する必要がある。	

奨学金貸付事業		事業の評価 ◎
(6)キャリア教育の推進		総合評価 B
概要	町内に住所を有する者の子で、高等学校以上の学校に在学し、勉学の意欲を有し、心身共に健康で、かつ経済上の理由で就学が困難と認められる者に対し、就学に必要な資金を貸し付けることにより有能な人材の育成に努める。	
実績	貸付の状況 ○平成28年度実績 ・貸付人数 52名(新規採用者 16名) 高等学校 2名 ・ 専門学校 7名 ・ 短期大学 2名 ・ 大学 41名 ・貸付総額 23,860,000 円 ・滞納状況 一般会計:16名 6,366,200 円 奨学基金:14名 5,217,800 円	
成果	将来を担う生徒が就学するための手助けとなった。 新規貸付者については前年度より数名増えたが、全体の人数は減少している。	
評価と方向性	経済上の理由から就学のための資金を必要としている者への貸付として、事業の継続が必要である。 現在は、貸付の決定は採用基準により実施している。 今後も貸付事業を継続して実施していくために、返還金の滞納者への働きかけを継続して実施し、滞納額が減少するように努力していく。	

学務課関係 No.9

特別支援教育就学奨励費補助事業		事業の評価 ◎						
(7)特別支援教育の充実		総合評価 B						
概要	学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童生徒、特別支援学級等へ就学する児童生徒の世帯の所得に応じて、学用品費等の補助を行う。 なお、給食費については、平成27年度から実施の給食費無料化に伴い、補助の対象から除いた。							
実績	○ 特別支援学級 <table border="1" data-bbox="349 1581 1112 1680"> <tr> <td>認定者数</td><td>小学生 6名</td><td>中学生 5名</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>67 千円</td><td>147 千円</td></tr> </table> ※事業費の1/2以内で国庫補助金あり。		認定者数	小学生 6名	中学生 5名	事業費	67 千円	147 千円
認定者数	小学生 6名	中学生 5名						
事業費	67 千円	147 千円						
成果	認定された児童生徒及び特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減できた。							
評価と方向性	認定された児童生徒及び特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担や心の負担の軽減できる事業であるため、学校との連携をしながら今後も継続していく。 将来を担う児童生徒が就学するための手助けとなった。							

中学生海外派遣事業		事業の評価 ◎										
(9)国際化に対応する教育の推進		総合評価 B										
概要	海外の歴史や文化・産業等の視察や現地の学生と交流を図り、国際感覚を養う。また、ホームステイの体験を通してコミュニケーション能力を養う。											
実績	町内4中学校の2学年から参加生徒を選抜し、6泊8日の日程でカナダのブリティッシュコロンビア州(バンクーバー)に派遣した。 現地では、ホームステイや体験型語学研修として学生と交流を図った。 <table><tr><td>派遣期間</td><td>10/21(金)～10/28(金)</td></tr><tr><td>募集人員</td><td>35名</td></tr><tr><td>参加生徒数</td><td>23名</td></tr><tr><td>事業費</td><td>6,746千円</td></tr><tr><td>参加者負担金</td><td>90千円／名 (一般会計の雑入 2,070千円)</td></tr></table>		派遣期間	10/21(金)～10/28(金)	募集人員	35名	参加生徒数	23名	事業費	6,746千円	参加者負担金	90千円／名 (一般会計の雑入 2,070千円)
派遣期間	10/21(金)～10/28(金)											
募集人員	35名											
参加生徒数	23名											
事業費	6,746千円											
参加者負担金	90千円／名 (一般会計の雑入 2,070千円)											
成果	多感な時期に海外を訪問し、国際感覚やコミュニケーション能力を身に付けたことにより、積極性やリーダーシップに目覚め、学校内外の活動に取り組む姿勢等に変化が現れた。											
評価と方向性	訪問学校やホームステイ先などで、生の英語に触れる機会に恵まれるとともに、様々な施設の見学や体験活動をとおして広い視野を身につけた。 中学生生徒数の減少にともない、募集人員の見直し(町内中学2年生の約2割)、研修先の検討などを行う必要がある。											

学務課関係 No.11

語学指導外国語青年招致事業		事業の評価 ◎
(9)国際化に対応する教育の推進		総合評価 B
概要	英語を母国語とする外国語指導助手が児童生徒の身近にいることにより、英語能力の向上及び興味・関心を持つことを図る。	
実績	JETプログラム活用の外国語指導助手 1名(平成28年7月まで) 民間業者への委託の外国語指導助手 1名(平成28年8月から2名) ※委託料:1か月 378,000円 計2名を小・中学校の英語指導の助手として配置した。 小・中学校へは毎週訪問し、授業のほか、英会話スピーチコンテスト、中学生海外派遣事業の英会話指導を行った。	
成果	外国語指導助手の活用により、授業の質の向上や児童生徒の学力向上、英語教育の指導体制の充実が図られた。また、中学生のスピーチコンテストでは県大会へ出場し優秀な成績を収めている。	
評価と方向性	平成28年8月より2名を民間業者へ委託し、今まで以上に英語指導が充実できるようになった。 今後、小学校外国語教育の全面実施に向けて、平成30年4月1日から平成32年3月31日までの2年間の移行期間を経て、平成32年4月1日からスタートとなる。小学校5・6年生での授業必須科目になり、また、3年生までの英語指導を必要とするため、現在の人数では指導の確保が難しいため、増員を希望し、児童生徒への英語教育の充実が図れるようにしていく。	

教職員研修事業		事業の評価 ○
(11)研修の充実		総合評価 B
概要	教職員の新採用者に対して、南部町の教育課程・文化歴史等について理解を深めてもらうことを目的に実施する。南部町の歴史、文化、各種事業の内容を理解し、教職員の認識向上を図り学習指導に取り入れている。	
実績	○南部町ふるさと研修(4/28) 対象者:1名 ・合併10周年記念DVDを活用し南部町の概要説明、また、町内文化財巡りとして南部利康霊屋・聖寿寺館跡等9カ所の見学を行うなど、町の文化と歴史について理解を深めることができた。 【町文化財巡り箇所】 1. 史跡「聖寿寺館跡」、2. 南部利康霊屋、3. 村井家住宅、4. 恵光院(十一面観音立像) 5. 法光寺、6. 田中家住宅、7. 苔米地館跡、8. 御嶽神社、9. 八木田の十三塚 ※現地説明(講師:社会教育課・史跡対策室長 永井治)	
成果	町の概要については合併10周年を記念し町で作成したDVDを鑑賞した。また、町の文化財等については実際に現地を訪れて見学し、南部町の歴史と文化について全体像を把握させることができた。	
評価と方向性	受講者の声・意見を聞いて、児童生徒の学習に役立つような研修内容(文化・歴史)になるよう、研修内容のステップアップを図る。 今後、研修を通じて町の教育課題・文化歴史等を広く理解し、児童生徒の指導に役立つよう、研修内容の検討を行っていく。	

幼稚園就園奨励費補助事業		事業の評価 ○
(13)幼児教育の推進		総合評価 B
概要	私立幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、世帯の所得状況に応じて保育料の一部を減免(補助)し、幼稚園教育の振興に資する。	
実績	幼稚園就園奨励費補助金 【対象者】 2名 【交付金額】 74,700円(年額) 事業費の1/3以内 【国庫補助】 22,000円	
成果	認定された園児及び保護者の経済的負担を軽減できた。	
評価と方向性	認定された園児及び保護者の経済的負担や心の負担の軽減できる事業であるため、私立幼稚園と連携をとりながら今後も継続していく。	

家庭教育講座（おもしろ体験教室）		事業の評価	○
(2)学校・家庭・地域との連携及び協働による推進		総合評価	B
概要	親子でのいろいろな体験活動によるコミュニケーションやふれあいの時間を作るための講座を開催した。		
実績	○ 親子での参加による体験活動型の講座を開催した。		
	参加者数	35名（小学生、保護者）	
	開催回数	2回	
	開催場所	名川ドライフラワーセンター ほか	
	講座内容	12月：雪だるまボット、お正月しめ飾り	
	事業費	38千円	
成果	親子で、共同して制作活動を行うことにより、各工程において、コツなどの会話がはずみコミュニケーションづくりの一助となった。		
評価と方向性	親子で参加する事業であったため、コミュニケーションづくりが図られ、事業の目的は概ね達成できた。今後については、内容、回数、開催日、対象者を検討し継続したい。		

社会教育課関係 No.15

青年教室		事業の評価	○										
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B										
概要	青年による自発的な学習・体験・交流活動を行った。親睦を深め、同世代の「つながりの輪」を広げるとともに若者による町づくりを考える。												
実績	<table><tr><td>参加者数</td><td>延べ21名</td></tr><tr><td>開催回数</td><td>3回</td></tr><tr><td>講座内容 開催日</td><td>第1回 11／22 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー (1) 第2回 12／8 (木) パソコンで作る思い出のスライドショー (2) 第3回 12／20 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー (3)</td></tr><tr><td>開催場所</td><td>南部町立南部公民館</td></tr><tr><td>事業費</td><td>25千円(講師謝金)</td></tr></table>			参加者数	延べ21名	開催回数	3回	講座内容 開催日	第1回 11／22 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー (1) 第2回 12／8 (木) パソコンで作る思い出のスライドショー (2) 第3回 12／20 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー (3)	開催場所	南部町立南部公民館	事業費	25千円(講師謝金)
参加者数	延べ21名												
開催回数	3回												
講座内容 開催日	第1回 11／22 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー (1) 第2回 12／8 (木) パソコンで作る思い出のスライドショー (2) 第3回 12／20 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー (3)												
開催場所	南部町立南部公民館												
事業費	25千円(講師謝金)												
成果	近年の社会状況や就業形態の多様化により、青年の集まれる機会が少ないため、成人式実行委員に参加いただき行った。												
評価と方向性	本事業は、合併以来行ってきた事業ではあるが、若者を取り巻く社会状況や就業形態の多様化により参加者の獲得は非常に厳しい。参加者が少ないので、内容を考慮し、自発的に活動、継続をすることが望ましい。												

まべち笑楽校		事業の評価	◎																				
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B																				
概要	月2回(第1・第3火曜)、高齢者(65歳以上)の生きがいをづくりをねらいとして、学校方式を模して学習活動を行った。 地域の各種愛好者を指導者に迎え、学習内容を国語、算数、理科、社会、体育、音楽、家庭生活、図画工作、外国語、総合に置き換えた。																						
実績	<table border="1"> <tr> <td>参加者数</td><td>20名</td><td>男性3名</td><td>女性17名</td></tr> <tr> <td>開催回数</td><td>15回</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>講座内容 開催日</td><td colspan="3"> 入学式 5/10 授業日 5/17、6/7、6/21、7/5、7/19、10/4、10/17、 10/18、11/15、12/6、12/20、2/7、2/21、3/7 卒業式 3/21 修学旅行 11/18 久慈市方面 </td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td colspan="3">剣吉公民館 他</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td colspan="3">87千円(講師謝金、消耗品等)</td></tr> </table>			参加者数	20名	男性3名	女性17名	開催回数	15回			講座内容 開催日	入学式 5/10 授業日 5/17、6/7、6/21、7/5、7/19、10/4、10/17、 10/18、11/15、12/6、12/20、2/7、2/21、3/7 卒業式 3/21 修学旅行 11/18 久慈市方面			開催場所	剣吉公民館 他			事業費	87千円(講師謝金、消耗品等)		
参加者数	20名	男性3名	女性17名																				
開催回数	15回																						
講座内容 開催日	入学式 5/10 授業日 5/17、6/7、6/21、7/5、7/19、10/4、10/17、 10/18、11/15、12/6、12/20、2/7、2/21、3/7 卒業式 3/21 修学旅行 11/18 久慈市方面																						
開催場所	剣吉公民館 他																						
事業費	87千円(講師謝金、消耗品等)																						
成果	高齢者の自発的な活動をねらい、学習内容は話し合いで決めている。学習活動では、参加者の積極性が伺われ、常に笑いがあり明るい雰囲気の中での学習が出来た。教科内容については南部町に関わるものとするに努め、講師は主に町内在住者に依頼した。 参加者からは、「他地区の人と知り合えた」、「色々な事が勉強できた」、「1年間楽しかった」などの感想が寄せられるなど、高齢者の学習意欲の向上が図られ、生きがいをづくりの一助となった。																						
評価と方向性	平成28年度において4期目の開催となった。同窓会も組織され、今後、社会活動への参加も期待できる。 まべち笑楽校の学習活動は参加者に好評であり、高齢者の生きがいをづくりとなるため、今後も継続が望ましい。																						

南部ふるさと塾		事業の評価 ◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 A
概要	南部藩発祥の地と云われる南部町は奥州南部氏の入部にはじまり、南北朝時代・室町時代を経て戦国時代に至るまで南部地方の政治・経済・文化の中心地であった。町内には南部氏に関わる城館跡や文化財・伝承が数多く残っている。南部ふるさと塾では、この歴史的な魅力あふれる地域性を活かし、南部地方の歴史に関連する各分野の研究者を講師として招き、町内外を問わず広く、郷土の歴史・伝統・文化を学習する場を提供することを目的としている。 28年度のテーマは『集結！南部氏家臣団』と題し、中世～近世初頭にかけての南部氏の家臣団について文献史学や考古学など様々な角度から検証した全6回シリーズを展開した。	
実績	全体テーマ『集結！南部氏家臣団』 第1回 弘前大学名誉教授 齊藤利男氏『三戸南部氏家臣団の成立と展開』 9/3 参加者：219名 会場：町民ホール 第2回 旧盛岡藩士桑田元理事長 下山寛氏『今も残る南部藩家臣団の系譜』 10/22 参加者：191名 会場：町民ホール 第3回 八戸市博物館主事兼学芸員 滝尻侑貴氏『糠部の国衆』 11/21 参加者：201名 会場：町民ホール 第4回 南部町教育委員会社会教育課史跡対策室長 永井 治『史実と伝承の南部氏』 12/5 南部町教育委員会社会教育課史跡対策室主査 布施和洋『中世北奥の城館と南部氏関連城館』 参加者：163名 会場：町民ホール 第5回 八戸工業大学第二高等学校教諭 熊谷隆次氏『南部利直と三戸城』 2/18 参加者：224名 会場：町民ホール 第6回 岩手大学名誉教授 細井 計氏『南部重直と家臣団』 3/4 参加者：209名 会場：町民ホール ○ 事業費 150千円(講師謝金)	
成果	講座毎に毎回実施しているアンケートに基づき、次年度のテーマや講師を選定した。講師選定に当たっては、共催団体の町歴史研究会と協議し決定した。また、当日の受付等の会場運営を歴史研究会と共同で行った。毎回、200名前後の受講者があり、八戸市や二戸市等近隣市町村はもとより青森市、弘前市、盛岡市、秋田市、宮城県、千葉県、埼玉県等遠方からの参加者もあり、シリーズものの歴史講座としては全国的に有数の規模となっている。テーマを絞ったシリーズ化や周知活動が効果的に働いたと考えられる。はじめての参加者が11%を占め、新規参加者の開拓に成果があった。	
評価と方向性	町外の参加者に対し、歴史をとおして町をPRすることができた。歴史講座の参加者数としては全国的にも有数の規模であり、南部町の歴史や文化財を地域資源として掘り起し、今後も講座をとおして町内外にPRするため継続が望まれる。 当事業の書籍化について東京の戎光祥出版社より打診があり、講師と協議して進めていきたい。	

学校と地域ネット推進事業		事業の評価◎	
(2) 学校・家庭・地域との連携及び協働による推進		総合評価B	
概要	小・中学校の要望に応じて、各分野の専門家、愛好家に学校教育活動に講師として参加してもらい、児童・生徒の基礎的事項の定着を図り、地域に対する愛着の心を育むことを目的にした事業を行った。		
実績	○ 学校の要望に応じた講師（ゲストティーチャー）を派遣する。 学校が社会教育課へ計画書を提出する。講師との連絡調整は社会教育課が行う。		
	対 象 者	児童、生徒、一般	
	講 師	14名 9団体	
	開催回数	92回	
	開催場所	小・中学校	
	学習項目	踊り・郷土芸能 — 名川音頭・福地音頭・南部手踊り・えんぶり・	
		ダンス	
		学術・歴史	— 茶道・七踊り鑑賞会・奥州街道ウォーク
生活・産業		— 郷土料理・お菓子づくり・米作り・コサージュ作成	
趣味・娯楽		— 読み聞かせ・将棋・囲碁	
	音楽・楽器	— ギター	
	その他	— 陸上指導	
事業費	318千円(講師謝金)		
成果	町の歴史や郷土芸能など、地域の専門家・愛好家の指導により本物を体感することができ、学校・地域の連携の一助となった。 講師は主に地域在住の方に依頼しているので、「地元へ貢献したい」との意識が感じられた。		
評価と方向性	文化・歴史・芸能等に精通している方や、地域在住の方に講師を依頼することにより、学校と地域の連携が多く見られた。 今後の課題として、様々な分野の新規講師の発掘・確認とともに、関係各課との連携など臨機応変に対応する必要があると考える。 学校教育・社会教育ともに学習効果が大きいため、今後も事業の継続が望まれる。		

成人式		事業の評価	◎						
(1) 社会教育推進体制の充実		総合評価	B						
概要	成人式実行委員会 新成人自らの手で、大人への節目である成人式を作り上げることを目的として組織し、式典内の各代表や係分担、アトラクション他、企画・運営にかかわる様々な事項を協議した。 成人式の開催 町連合青年団の協力により、式典・アトラクション（実行委員会作成によるスライド上映）・記念写真撮影を行った。								
実績	○ 開催日時 平成29年1月8日（日）13時00分～ ○ 開催場所 町民ホール（楽楽ホール） ○ 事業費 427千円 ○ 事業内容 式典、アトラクション（実行委員会作成によるスライド上映）、記念写真撮影（記念品） <table><tr><td>対象者</td><td>223名</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>188名（出席率84.3%）</td></tr><tr><td>実行委員会</td><td>5回</td></tr></table>			対象者	223名	参加者数	188名（出席率84.3%）	実行委員会	5回
対象者	223名								
参加者数	188名（出席率84.3%）								
実行委員会	5回								
成果	町連合青年団及び成人式実行委員会の協力・連携により、円滑に式典を進行できた。 また、青年団については昨年度より多くの人数から協力が得られた。 なお、昨年度と同様に「新成人の控え室（おしゃべりする場所）」と、冬場のため「女性の新成人を降車させる場所」を設置し、受付時間においては特に混雑など支障を来すことがなく運営ができた。								
評価と方向性	成人式を青年教育の一つとし、成人としての自覚と自己の責任を持つ決意を促すことができるよう、実行委員会の役割や町連合青年団との関わりを多く持たせ、将来の町の担い手となる新成人に「地域づくり」へ参加する機会となるよう、町連合青年団と連携していく。								

南部町文化賞・スポーツ賞表彰式		事業の評価	◎
(1) 社会教育推進体制の充実		総合評価	B
概要	町の文化向上に貢献した者、町の体育・スポーツに振興発展に功績があった者を表彰した。		
実績	○ 開催日 2／4（土）		
	○ 開催場所 町民ホール（楽楽ホール）		
	○ 事業費 257千円		
	文化功労賞	該当者なし	
	文化賞	16名	
	文化奨励賞	2団体（43名）、31名	
	スポーツ功労賞	該当者なし	
成果	スポーツ賞	17名	
	スポーツ奨励賞	1団体（5名）、33名	
	文化の向上、体育・スポーツ振興に功績のあった方々を表彰した。		
評価と方向性	町民の模範とみられる功績があった方々への賞であることと、受賞者には今後の励みとなることから継続が望まれる。		

社会教育課関係 No.21

南部七唄七踊り全国大会		事業の評価	◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	南部七唄七踊りの啓発、普及、後継者育成を目的に大会を行った。		
実績	○開催日 9／25（日）		
	○開催場所 町民ホール（楽楽ホール）		
	○実行委員会 年4回 大会の内容を協議		
	出場者数	七唄小学生の部	4名
		七唄中・高生の部	4名
		七踊り子どもの部	33名
七踊り大人の部		22名	
事業費	2,900千円（町補助金）		
成果	南部七踊りの大会が22回、南部七唄の大会が17回開催され、会場に入りきれないほどの盛況で、テレビ放映もあり関心の高さがうかがえる。 大会出場者の大人の部の年齢層が若い世代に移行しているので後継者育成が進行している。		
評価と方向性	南部七唄七踊りは町の文化財にも指定され、多くの方々に支持されているため継続が望まれる。		

文化財審議委員会		事業の評価◎													
(1) 文化財の保護及び保存		総合評価B													
概要	文化財審議委員会議の開催 文化財審議委員による町指定文化財候補物件の調査、文化財の指定														
実績	<table><tr><td>会議の開催日</td><td colspan="2">6/13・2/24</td></tr><tr><td>八戸市史跡根城の広場視察研修</td><td>7/12</td><td>委員6名出席</td></tr><tr><td>三八地区文化財保護研究集会</td><td>10/18</td><td>委員5名出席</td></tr><tr><td>事業費</td><td colspan="2">会場：田子町立中央公民館 117千円</td></tr></table>			会議の開催日	6/13・2/24		八戸市史跡根城の広場視察研修	7/12	委員6名出席	三八地区文化財保護研究集会	10/18	委員5名出席	事業費	会場：田子町立中央公民館 117千円	
	会議の開催日	6/13・2/24													
	八戸市史跡根城の広場視察研修	7/12	委員6名出席												
	三八地区文化財保護研究集会	10/18	委員5名出席												
事業費	会場：田子町立中央公民館 117千円														
成果	八戸市の国史跡根城跡で整備状況、史跡ガイドの運営状況についての視察研修を行った。 昨年度に実施した会議の決定を受けて、28年5月18日に、新規の町文化財として八木田の十三塚、聖寿寺館跡出土金箔土器、向鶴銅製品の3件を指定し、さらに29年3月15日には相内神明宮お神楽（獅子頭）を指定した。また、3月10日には法光寺承陽塔が国登録となる旨が国文化審議会から答申された。														
評価と方向性	町指定文化財の候補物件は毎年地道に調査し、所有者の了承を得た上で指定していく必要がある。														

史跡対策室関係 No.2 3

町内文化財パトロール事業		事業の評価	○
(1) 文化財の保護及び保存		総合評価	B
概要	町内に所在する文化財について、パトロールを通して現状を把握し保護活動に努める。		
実績	主な業務	遺跡の範囲変更及び新規遺跡の登録 土地開発等による埋蔵文化財の破壊や盗掘の有無の確認 文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握	
	パトロール件数	34件（埋蔵文化財包蔵地29件、国重文1件、県重宝4件）	
	新規遺跡登録	1件（八木田館跡）	
	実施日	通年	
	事業費	— 円 県費負担	
成果	文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握することができた。 また、新規に八木田館跡の遺跡登録を実施した。		
評価と方向性	文化財・埋蔵文化財の保護には必要不可欠な事業であり、今後も継続してパトロールを実施する必要がある。		

南部学研究会（※数年に一度開催）		事業の評価	◎
（２）文化財の整備及び活用		総合評価	A
概要	数年に一度、町民や県内外の人々を対象とし、最新の調査研究成果・発掘成果を通じて、史跡聖寿寺館跡をはじめとする南部町の歴史文化遺産を全国に発信することを目的とする。		
実績	○ 第3回南部学研究会『南部屋形 聖寿寺館』		
	開催日	12/18 9：45～15：30	
	開催場所	町立町民ホール「楽楽ホール」	
	開催内容	基調講演1 工藤清泰氏（日本考古学協会員） 「貿易陶磁器から見た聖寿寺館跡と南部氏について」	
		基調講演2 中西裕樹氏（大阪府高槻市しろあと歴史館事務長） 「城とまちから見た聖寿寺館跡と本三戸」	
		研究報告1 永井 治（南部町教育委員会） 「中世本三戸城の空間構造」	
		研究発表2 布施 和洋（南部町教育委員会） 「室町・戦国期の聖寿寺館中心区画」	
		アトラクション郷土芸能「えんぶり」（福田上えんぶり組）	
		【シンポジウム】 「南部屋形 聖寿寺館～よみがえる中世本三戸～」 コーディネーター 齊藤利男氏（弘前大学名誉教授）	
	パネリスト 工藤清泰氏・中西裕樹氏 永井康雄氏（山形大学教授） 永井 治・布施和洋		
対象者	町民及び周辺市町村民（年齢問わず）		
入場料	無 料		
参加者	261名		
周知方法	町広報、ポスター掲示、新聞記事掲載		
事業費	1,300千円（内 1,280千円が県町村会より助成）		
成果	県内はもとより、岩手県・秋田県千葉県など県外からも一定の参加者があり、南部藩発祥の地「南部町」のPRに一定の効果が認められた。毎戸配布チラシやHPでの周知、新聞掲載、ラジオ、ポスター掲示などの広報手段が効果的だったと考えられるが、南部氏や聖寿寺館跡の歴史に対する関心の高さが伺えた。また、新規参加者が半数以上にのぼり、新規参加者の開拓に一定の成果が認められた。		
評価と方向性	南部町や南部藩発祥の地としての歴史、史跡聖寿寺館跡や周辺の文化財、これらに関連する歴史企画への需要は高いものと考えられ、企画の仕方では十分に集客力が期待できる分野であることがわかった。 参加者の多くの方から第4回目の開催を望む声があったため、平成29年12月17日に第4回南部学研究会を開催予定。今後も内容の充実に努め継続開催していく。		

奥州街道の整備・活用・普及事業		事業の評価	○				
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価	B				
概要	南部町には、江戸時代に定められた五街道のひとつである「奥州街道」が南北に縦断している。 年1～2回程度、奥州街道の刈り払いを行い、管理・整備している。また、町の歴史を楽しく学ぶ奥州街道ウォークも実施し、活用・普及している。						
実績	<table><tr><td>奥州街道ウォーク</td><td>9/29 参加者44名 向小学校・南部小学校6年生合同</td></tr><tr><td>事業費</td><td>— 円</td></tr></table> ※手作りパンフレットの作成・設置			奥州街道ウォーク	9/29 参加者44名 向小学校・南部小学校6年生合同	事業費	— 円
奥州街道ウォーク	9/29 参加者44名 向小学校・南部小学校6年生合同						
事業費	— 円						
成果	奥州街道沿いには数多くの文化財があり、街道を歩いて町の歴史を楽しく学ぶことは、一般の方はもとより児童にとっても新鮮に映ったようである。奥州街道の通行者や問い合わせは年間を通して一定量あり、今年度も手作りパンフレットを社会教育課に設置している。						
評価と方向性	奥州街道や奥州街道ウォークに対して一定のニーズがあり、今後も事業を継続していく。						

史跡対策室関係 No.2 6

国指定重要文化財『南部利康霊屋』の保存管理・公開活用			事業の評価	◎
(1) 文化財の保護及び保存			総合評価	B
概要	南部利康霊屋の保存管理（除草・植木の手入れ・霊屋トイレの管理・修繕）南部利康霊屋の公開・活用 南部利康霊屋保存管理委員会への助成（町から430千円）霊屋覆屋石垣修復・霊屋敷地正門交換			
実績	事業内容	4月	霊屋覆屋正面開戸交換	
		4月～11月	霊屋公園環境整備、霊屋拝観業務	
	5月下旬～6月上旬	ぼたんまつり期間中：霊屋特別公開		
成果	事業内容	8/18	南部利直命日・総会	
		11/21	南部利康命日	
	11月～12月	霊屋石垣修復		
評価と方向性	事業内容	1月	霊屋正門修繕	
		3月	臨時総会（史跡聖寿寺館跡案内所設置に伴う拝観料金及び拝観日等の改定）	
	事業費	1,391千円（うち、430千円は保存管理委員会へ助成）		

史跡聖寿寺館跡調査整備委員会		事業の評価	◎
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価	B
概要	『史跡聖寿寺館跡』を史跡公園化として整備するため、平成26年3月に策定した『史跡聖寿寺館跡整備基本計画書』に基づき、史跡聖寿寺館跡調査整備委員会を開催し、発掘調査の進め方や史跡公園化に向けた整備内容について検討を進める。		
実績	○ 史跡聖寿寺館跡調査整備委員会（委員 14名）		
	第7回会議 6/17（金）	委員の委嘱・委員長の選任 発掘調査現場、整備予定地の現地視察 発掘調査地点についての検討 整備予定のガイダンス施設設計についての検討	
	視察研修 7/12（火）	整備先進地 八戸市国史跡根城跡・八戸市博物館の視察 担当者から整備の概略、史跡ガイドの募集・運営について説明を受けたのち、博物館展示と復元建物についての現地視察を実施	
	建物検討会 11/1（火）	発掘調査現場の現地確認 今年度発掘調査で確認された東北最大規模の大型掘立柱建物跡についての間取り等の検討	
	第8回会議 2/7（火）	今年度発掘調査で確認された東北最大規模の大型掘立柱建物跡についての検討 整備事業の報告、来年度整備事業の確認 ガイダンス・維持管理施設の現地視察	
	事業費	606千円（町単費）	
成果	29年度に募集・発足予定の史跡ガイドについて情報を収集するため、先進地視察（八戸市根城跡）を実施した。また28年度の発掘調査、整備内容について検討を進め、29年度の発掘調査予定区域を決定した。		
評価と方向性	平成25年度の『史跡聖寿寺館跡整備基本計画書』、平成26年度の『史跡聖寿寺館跡整備実施計画』に基づき、平成27年度から32年度までの計画で聖寿寺館跡を史跡公園として整備していく。		

史跡対策室関係 No.2 8

史跡聖寿寺館跡土地公有化事業		事業の評価 ◎
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価 B
概要	北東北最大の中世武士団であった南部氏の中心的城館である史跡聖寿寺館跡を保護保存し、史跡公園として整備するため、地権者の同意を得て聖寿寺館跡本体部分の土地を公有化する。	
実績	○ 公有化対象地 住所 南部町大字小向字館32番地 面積 5,442 m²（1筆） ○ 事業費 41,012千円（国庫補助 32,808千円）	
成果	史跡聖寿寺館跡本体のうち、東側部分を大きく占める平場部分を公有化した。大型中心建物は今回公有化を実施した場所にも続く可能性があり、平成29年度に発掘調査を実施する。	
評価と方向性	平成17年度に文化庁・青森県教育委員会・南部町教育委員会の連名で刊行した『史跡聖寿寺館跡保存管理計画』に基づき、公有化を進めている。史跡公園として必要な部分を優先し、公有化していく必要がある。	

史跡聖寿寺館跡整備事業		事業の評価 ◎
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価 A
概要	平成26年3月に策定した『史跡聖寿寺館跡整備基本計画』に基づき、平成32年度までに聖寿寺館跡を町民が親しみ、憩いの場となるような史跡公園として整備するものである。	
実績	1、整備内容 今年度は史跡聖寿寺館跡の歴史的背景や価値、往時の姿などを分かりやすく見学者に説明し、適切に維持管理していくため史跡聖寿寺館跡案内所を整備した。 (1) 施設名称 史跡聖寿寺館跡案内所（南部町大字小向字正寿寺 81 番地 2） (2) 施設面積等 建築面積 233.83 m² 床面積 229.46 m² 敷地面積 662.00 m² (3) 建物内の構成 展示室 44.71 m²、研修室 63.76 m²、作業室 36.95 m²、倉庫 36.62 m²、物置 7.45 m²、男子トイレ 7.45 m²、女子トイレ 7.45 m²、廊下、靴脱ぎ場、靴洗い場 (4) 整備費用 工事費 46,332,000 円、設計 1,771,200 円、施工監理 864,000 円 看板設置工事 193,320 円 <u>建設費合計 49,160,520 円</u> その他 備品購入費（机・椅子等）812,160 円、展示パネル等 139,709 円 用地買収費 5,997,720 円 <u>その他合計 6,949,589 円</u> <u>合計 56,110,109 円</u> 2、工期 平成28年9月1日～平成29年3月15日（実施設計平成28年5月2日～同年7月5日） 3、完成年月日 平成29年2月15日（平成29年4月1日オープン） 事業費 56,110千円（国庫補助 17,922千円）	
成果	整備事業は平成32年度までの計画で、段階的に史跡公園として整備していくものである。今年度は史跡聖寿寺館跡の歴史パネルや主な出土品を展示する展示スペースや研修室を兼ね備えた案内所を整備した。	
評価と方向性	案内所には展示室を備え、史跡ガイドの詰所としても利用する予定であり、平成29年度には史跡ガイドを募集し養成講座を開催する予定である。また、平成29年度は井戸跡の遺構表示を整備し、説明板を設置する予定である。	

史跡対策室関係 No.30

史跡聖寿寺館跡の発掘調査		事業の評価 ◎
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価 A
概要	○ 平成5年から発掘調査を継続中（国庫補助 5割補助） ・ 発掘調査期間 5/10～11/30 遺物整理期間 11/1～3/17 調査面積 約1,653 m² ・ 調査地点 大型建物跡を確認した前年度調査区の東側・南側に調査区を設定。また虎口1隣接地を調査	
実績	○ 調査で確認された事項 ・ 遺構としては南北18間×東西17間（約36m×34m）の規模がある東北最大の大型掘立柱建物跡（建物B）を確認。また、大型掘立柱建物より新しい時期の堅穴建物跡・中世カマド遺構を確認。建物Bは聖寿寺館最終末期の建物で、23代安信、24代晴政の代の中心建物と考えられる。 ・ 遺物としては青磁碗・皿、白磁皿・小杯、染付碗・皿、赤絵皿、瀬戸美濃皿、天目茶碗等の陶磁器、角釘、銭貨、火箸等の金属製品、砥石、茶臼等の石製品 ・ 虎口1隣接地の調査では聖寿寺館跡でははじめて通路跡と考えられる面的な硬化面を2条確認。 ○ 事業費：9,962千円（国庫補助 4,981千円）	
成果	東北最大規模の大型掘立柱建物跡を確認し、その成果は10月26日付デーリー東北新聞1面トップに掲載された。この大型掘立柱建物跡（建物B）は柱穴からの出土遺物と遺構の重複関係から、聖寿寺館最終末期のものである可能性が高く、1539年に焼失した建物であると考えられる。	
評価と方向性	昨年度と今年度の調査地点から確認された建物の規模が東北最大であることが判明し、また、出土遺物は当時としても希少性の高い高価なものが出土していることから、格式の高い中心的な空間であったことが想定され、今後は周辺部に調査区を延長し、付属施設や空間利用の把握に努める必要がある。	

史跡聖寿寺館跡の活用（見学・体験発掘・出前授業）			事業の評価◎			
(2) 文化財の整備及び活用			総合評価B			
概要	史跡聖寿寺館跡の見学や体験発掘を通して、町の歴史を児童・生徒に現地で実際に体感してもらう体験型の学習プログラム。各学校での出前授業では、職員が講師となって、スライドを交えながら町の歴史を解説。					
実績	○ 体験発掘 小学校7校 参加者数140名					
	実施日	実 施 内 容	参加者			
	5/26	福田小学校体験発掘	31名			
	6/14	名久井小学校体験発掘	23名			
	6/17	田子町立上郷小学校体験発掘	11名			
	6/27	福地小学校体験発掘	20名			
	7/8	向小学校・南部小学校合同体験発掘	42名			
	7/19	名川南小学校体験発掘	13名			
	○ 団体見学 18団体等 参加者数627名			○ 出前授業・街道ウォーク 小学校4校 中学校2校 一般2回 参加者数315名		
	実施日	実 施 内 容	参加者	実施日	実 施 内 容	参加者
	5/30	あかね老人クラブ	15名	6/9	杉沢中学校（全校生徒）	40名
	6/24	鹿角市十和田市民センター	41名	7/15	福田小学校（6年生）	31名
	6/29	八幡平市寺田コミュニティセンター	32名	9/15	田子町立田子中学校（1年生）	43名
	7/1	杉沢中学校	40名	9/30	福田小学校街道ウォーク	31名
	7/1	山梨県身延町長他3名	4名	10/26	退職校長会	56名
	7/21	八戸市鮫公民館史跡見学	77名	11/12	八戸市遺跡調査報告会	70名
	7/29	山梨県南部町児童見学	80名			
	8/29	Vic ウーマンの会	31名			
	9/8	田子中学校	49名			
	9/9	横浜市栄区長	3名			
	9/12	一般見学（東京都から）	2名			
	9/18	NHK文化センター青森教室	15名			
	10/2	NHK文化センター弘前教室	20名			
	10/14	山脈句会	12名			
	10/18	もりおか歴史文化館 ボランティアグループ	30名			
10/28	三八県民局視察	6名				
10/29	発掘調査現地説明会	130名				
11/18	八戸市老人クラブ連合	40名				
成果	町内外の小学生が体験発掘や出前授業をとおりて南部氏歴史を体感していた。学校からは継続して出前授業や体験発掘のニーズがあり、郷土の歴史学習に効果をあげている。発掘調査では東北最大の中心建物が確認されたことで史跡の知名度が向上し、今年度の発掘調査現地説明会では過去最高の130名の参加があった。					
評価と方向性	地元の歴史や文化を学ぶことは必要不可欠であり、今後も町内の学校と連携し、児童・生徒に郷土の歴史を学ぶ機会・体験する機会を提供し、郷土に誇りをもてるような郷土史学習プログラムを推進していきたい。					



○ 事業費 ー 円

伝統芸能・技術の継承事業		事業の評価	
(3) 伝統芸能及び技術の継承		総合評価	
概要		○ B	
郷土に根ざして継承されてきた芸能を保護し、さらに後世に引き継ぐために後継者の育成に努める団体に対し助成する。			
実績	実施内容		事業費
	助成団体	南部町郷土芸能保存会	370千円
		無形民俗文化財保存・活用事業（13団体）	260千円
		無形民俗文化財後継者育成事業（9団体）	180千円
		郷土芸能後継者育成事業（南部七唄七踊り子ども教室）	450千円
○ 第2・第4土曜日に町内公民館で南部七唄・七踊りこども教室を実施 町郷土芸能保存会の会員が講師で指導（町内の小・中学生が参加） ○ 毎年2月の南部地方えんぶりに補助金を交付 230千円			
成果	町指定の無形民俗文化財の継承活動のために有効に活用され、後継者の育成に役立っている。		
評価と方向性	伝統芸能の保存と次世代への継承には必要不可欠な事業であり、南部町郷土芸能保存会や郷土芸能の継承者より事業の継続の要望が寄せられており、今後も継続して助成していく。		

趣味の教室		事業の評価	◎								
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	A								
概要	自己の知識・能力の向上を図ることを目的に、町民が興味・関心のある教室を開講。										
実績	○ 町民の希望による教室 29講座 生け花、エアロビクス、英会話(中級)、カラオケ、女声コーラス、混声コーラス、フラダンス シルバーコーラス、南部詩吟、社交ダンス、写真・絵画、太極拳、陶芸、ヨガ、南部手踊り パソコン、舞踊、フレッシュレクダンス、パッチワーク、よさこい、リフレッシュ体操 名川カラオケ研究、ブックトーク、スポーツダンス、スポーツ吹矢、合気道、紙芝居 まべち会詩吟、ヘルスアップ										
	<table><tr><td>登録者数</td><td>438名</td></tr><tr><td>開催期間</td><td>5月～2月（月2回以上開催）</td></tr><tr><td>開催場所</td><td>町内公民館、体育館、B&G 海洋センター、伝承館等</td></tr><tr><td>事業費</td><td>2,016千円(講師謝金)</td></tr></table>			登録者数	438名	開催期間	5月～2月（月2回以上開催）	開催場所	町内公民館、体育館、B&G 海洋センター、伝承館等	事業費	2,016千円(講師謝金)
	登録者数	438名									
	開催期間	5月～2月（月2回以上開催）									
	開催場所	町内公民館、体育館、B&G 海洋センター、伝承館等									
事業費	2,016千円(講師謝金)										
成果	受講者のニーズに沿った教室であり、学習環境もよく生きがいをもって学習している。受講生による実行委員会が組織され、3月には学習成果を披露する発表会が行われる。										
評価と方向性	閉講式の際に次年度の受講希望をとっているが、ほとんどの教室が継続希望であるため、継続が望まれる。 また、発表会に出演しない教室や発表会になじまない教室もあり対応が必要。										

社会教育課関係（公民館）No.34

アロマフィットネス教室		事業の評価	○
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	アロマセラピーのリラックス&リフレッシュ効果と、簡単にできるエクササイズを結びつけた運動をとおして、健康維持の一助となるよう開催する。		
実績	○ アロマフィットネスに関する講義と演習		
	登録者数	12名	
	参加者数	延べ85名	
	開催回数	10回(9/14～11/30)	
	開催場所	福地公民館	
	事業費	100千円(講師謝金)	
成果	ストレッチを含む運動と原産地や効用・注意点など香りについて講義を受け、楽しみながら学習した。また、コロンや消臭サシェなどさまざまな物作りにも挑戦した。		
評価と方向性	アロマについて学び、香りを楽しみ、運動をして健康づくりができるということで、健康管理に対する意識が高まった。参加者からは継続を望む声があるため継続が望まれる。		

英会話教室（初級）		事業の評価　○
（３）多様な学習機会の拡充		総合評価　　Ｂ
概要	高校生以上の町民を対象に、国際人としての資質の向上を図るため、英語に親しみ、英語での簡単な日常会話ができるように開催する。	
実績	○　英会話に関する講義と演習	
	登録者数	１２名
	参加者数	延べ１１５名
	開催回数	１２回（９／７～１２／７）
	開催場所	福地公民館
	事業費	２０４千円（講師謝金）
成果	老若男女を問わず参加者は明るい雰囲気の中で受講していた。参加者の学習態度は極めて意欲的で、外国人講師による本物の英語を学ぶ良い機会となった。	
評価と方向性	テーマに沿った学習方法や内容は充実しており、参加者からは継続を望む声があるため継続が望まれる。	

社会教育課関係（公民館）No.36

ルーシーダットン教室		事業の評価◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価A
概要	ルーシーダットン(タイ式ヨガ)の特徴である呼吸法を実践しながら様々なポーズを学び、体全体の血液やリンパの流れをスムーズにし、健康維持の一助となるよう開催する。	
実績	○ ルーシーダットンに関する講義と実習	
	登録者数	30名
	参加者数	延べ215名
	開催回数	10回(10/3~12/12)
	開催場所	福地公民館
	事業費	100千円(講師謝金)
成果	参加者の学習意欲が高く、精神面のほかに体が鍛えられ、健康の維持管理に対する意識が高められた。	
評価と方向性	精神面の安定方法や健康であるための自己治癒力を身につけるなど、健康管理に対する意識が高められた。参加者からは継続を望む声があるため継続が望まれる。	

第10回 町民運動会		事業評価 ◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価 B
概要	町民の健康増進と町民相互の親睦を深め健康で明るく住みよい町づくりに寄与し、明日への活力を養うため開催。 15競技種目に、小学生から60歳以上の競技種目において地区対抗戦として実施。	
実績	中止	
	参加者数	18チーム(役員及び選手数 名)
	開催日	(10/9)
	開催場所	南部中学校
	事業費	1,266千円(賞品、参加奨励金等)
成果	悪天候により、グラウンドコンディションが悪く中止となったが運動会に向けて各チームが練習等を行う等、地域コミュニティ力の向上が図られた。	
評価と方向性	中止になったが、事前に練習するチームや参加者が増え、競技種目の内容も浸透し各チームで融和がとれている。 全町民が一堂に会して実施される唯一の行事であるため、アンケートを取るなど、今後も町民の意見やスポーツ推進委員・スポーツ指導員等の意見を参考にしながら改善を図っていく。	

社会教育課関係（体育館）No.38

第11回 町民歩け歩け運動大会		事業の評価 ◎										
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価 B										
概要	町民の体力つくりと参加者相互の親睦を深めるとともに、日常生活の中で歩くことの重要性を再認識することで、健康で明るい町づくりに寄与することを目的に毎年度開催。 今年は、岩手県盛岡市御所湖散策で募集し、行政バス4台にて実施場所へ移動、設定した目標地点まで全参加者でトレッキングする。											
実績	<table><tr><td>対象者</td><td>南部町民</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>102名</td></tr><tr><td>実施日</td><td>7/3</td></tr><tr><td>実施場所</td><td>岩手県盛岡市 御所湖広域公園</td></tr><tr><td>事業費</td><td>119千円(通行料等)</td></tr></table>		対象者	南部町民	参加者数	102名	実施日	7/3	実施場所	岩手県盛岡市 御所湖広域公園	事業費	119千円(通行料等)
対象者	南部町民											
参加者数	102名											
実施日	7/3											
実施場所	岩手県盛岡市 御所湖広域公園											
事業費	119千円(通行料等)											
成果	この事業は、「町民が歩くことを日常化することで、健康維持・増進につなげる目的で行っており」この事業に参加するため、早朝ウォーキングを取り入れた方もいることから、事業の成果と考えている。 また、毎年参加している方々は、初めて参加する方に声かけ誘導をする姿も見られるなど、参加者相互の親睦を深めることができた。											
評価と方向性	歩くことは、手軽な運動であり、町民の体力つくり、健康の維持・増進が図られる。参加者の意見を参考にコース設定するなど、気軽に参加できるよう計画する。 また、町民にウォーキングの魅力を伝え、健康づくりや生きがいに満ちた生活の充実が図られるよう継続していく。											

第6回総合優勝制スポーツ大会				事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興				総合評価	B
概要	6競技種目別における町内対抗スポーツ大会。結果発表及び表彰式は、町民運動会で行う。 (バウンドテニス、軟式バレーボール、ユニホック、グラウンドゴルフ、ソフトボール、ペタンク)				
実績	○ 対象者 一般成人による町民運動会チーム単位の18チームが参加対象 (バウンドテニス大会から始まってペタンク大会で終わる。) ○ 事業費 80千円(謝礼)				
	種目	開催日	開催場所	参加チーム	優勝チーム
	1バウンドテニス大会	平成27年12月6日	名川B&G海洋センター	14	東
	2軟式バレーボール大会	平成28年1月24日	町民体育館	15	男：大向 女：東
	3ユニホック大会	平成28年2月28日	町民体育館	14	下名久井
	4グラウンドゴルフ大会	平成28年5月29日	あけぼの多目的広場	16	福田
	5壮年ソフトボール大会	平成28年6月26日	南部中学校 他	14	あかね
	6ペタンク大会	平成28年7月10日	すば一く・ながわ	15	駅前
成果	対象期間 平成27年12月～平成28年7月				
	優勝 あかねチーム 108点 準優勝 たいらチーム 107点 第3位 東チーム 97点				
	各地域に浸透し、大会が近くなると、自主的に練習するチームが増えており、個々の競技力の向上がみられる。				
評価と方向性	地域の連帯意識を高め、スポーツの普及・定着化と町民相互の親睦が図られる。今後は、更に意識の向上を高め大会を盛り上げるために、体育協会加盟団体と連携を密にし、種目等の競技見直しを図るなど、全チームが参加できるよう推進・継続していく。				

ニュースポーツ in スクール			事業の評価		○
(4) 多様な生涯スポーツの振興			総合評価		B
概要	青少年のスポーツ活動の充実とスポーツの普及を図るため、町内の小・中学校の要望に応じてニュースポーツ in スクール教室を実施する。				
実績	対 象 者	町内小・中学生			
	講 師	スポーツ指導員 15 名			
	依 頼 者	名久井小学校 4 年生から 6 年生（クラブ活動の一環としてのニュースポーツ in スクールである）			
	参加者数	延べ 156 名 （名久井小ニュースポーツクラブ 12 名）			
	状 況	・ バウンドテニス： 5/12～7/7 5回 ・ ユニホック ： 9/7～10/27 4回 ・ ドッチビー ： 11/24～2/16 4回			
	開催場所	名川 B&G 海洋センターアリーナ			
	事 業 費	83 千円（講師謝礼）			
成果	名久井小学校の 4 年生から 6 年生加入の「ニュースポーツクラブ」からの要望で、ニュースポーツ in スクールを行っている。3 種目のニュースポーツは小学生に人気があり好評を得ている。これによって「移動教室」の依頼につながっている。				
評価と方向性	「ニュースポーツ in スクール」は、誰でも気軽に参加できることから、町内小・中学校の児童生徒には効果的な事業と考える。 今後は他の小・中学校が利用できるよう別の種目等も含め、募集をかけていく。				

ニュースポーツ移動教室		事業の評価 ◎																																																
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価 A																																																
概要	町内の各種団体からの要望により、場所を問わず出向きニュースポーツ移動教室を開催して、ニュースポーツ普及と地域住民の健康維持及び増進を図る。																																																	
実績	○ 対象者 町内各種団体 ○ 参加者数 468名 ○ 講師 スポーツ推進委員、スポーツ指導員 ○ 事業費 36千円（講師謝礼） ○ 事業内容																																																	
	<table><tr><th>依頼者</th><th>開催日</th><th>場所</th><th>種目</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>南部小学校1年生PTA (親子レクリエーション)</td><td>6/1</td><td>南部小体育館</td><td>ドッチビー</td><td>50名</td></tr><tr><td>福地小学校1.2年生PTA (親子レクリエーション)</td><td>7/17</td><td>福地小体育館</td><td>ドッチビー</td><td>55名</td></tr><tr><td>向小学校2年生PTA (親子レクリエーション)</td><td>7/17</td><td>向小体育館</td><td>タグラグビー</td><td>45名</td></tr><tr><td>名久井小学校5年生PTA (親子レクリエーション)</td><td>7/23</td><td>名久井小体育館</td><td>ドッチビー</td><td>50名</td></tr><tr><td>特別支援 仲良交流会</td><td>9/14</td><td>町民体育館</td><td>ドッチビー</td><td>50名</td></tr><tr><td>向小学校3年生PTA (親子レクリエーション)</td><td>9/25</td><td>向小体育館</td><td>ドッチビー</td><td>40名</td></tr><tr><td>南部中学校1年生PTA (親子レクリエーション)</td><td>11/5</td><td>町民体育館</td><td>軟式バレー</td><td>120名</td></tr><tr><td>名久井小学校2年生PTA (親子レクリエーション 33)</td><td>8/30</td><td>名川 B&G 海洋センター</td><td>ドッチビー</td><td>58名</td></tr></table>					依頼者	開催日	場所	種目	参加者数	南部小学校1年生PTA (親子レクリエーション)	6/1	南部小体育館	ドッチビー	50名	福地小学校1.2年生PTA (親子レクリエーション)	7/17	福地小体育館	ドッチビー	55名	向小学校2年生PTA (親子レクリエーション)	7/17	向小体育館	タグラグビー	45名	名久井小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	7/23	名久井小体育館	ドッチビー	50名	特別支援 仲良交流会	9/14	町民体育館	ドッチビー	50名	向小学校3年生PTA (親子レクリエーション)	9/25	向小体育館	ドッチビー	40名	南部中学校1年生PTA (親子レクリエーション)	11/5	町民体育館	軟式バレー	120名	名久井小学校2年生PTA (親子レクリエーション 33)	8/30	名川 B&G 海洋センター	ドッチビー	58名
	依頼者	開催日	場所	種目	参加者数																																													
	南部小学校1年生PTA (親子レクリエーション)	6/1	南部小体育館	ドッチビー	50名																																													
	福地小学校1.2年生PTA (親子レクリエーション)	7/17	福地小体育館	ドッチビー	55名																																													
	向小学校2年生PTA (親子レクリエーション)	7/17	向小体育館	タグラグビー	45名																																													
	名久井小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	7/23	名久井小体育館	ドッチビー	50名																																													
	特別支援 仲良交流会	9/14	町民体育館	ドッチビー	50名																																													
	向小学校3年生PTA (親子レクリエーション)	9/25	向小体育館	ドッチビー	40名																																													
	南部中学校1年生PTA (親子レクリエーション)	11/5	町民体育館	軟式バレー	120名																																													
名久井小学校2年生PTA (親子レクリエーション 33)	8/30	名川 B&G 海洋センター	ドッチビー	58名																																														
成果	毎年、団体等の要望に沿って実施しており、広くニュースポーツが普及してきている。今年度は昨年と比較し利用者の増加を図ることができた。特に、学校における「親子レクリエーション」として活用されており、依頼者からの要望に対応できた。																																																	
評価と方向性	指導者が出向き、ニュースポーツを体験できるため、利用者には大変好評を得ている。 今年から、新しい種目のタグラグビーの要望を受け実施しているので、競技講習会に参加し指導者等の資質向上を図る。																																																	

転倒・寝たきり予防教室		事業の評価◎																													
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価A																													
概要	町内 3 地区を会場に、介護サービスを受けていない高齢者を対象とした転倒予防プログラム及び各種測定を実施した。高齢者の介護予防にもつながることから健康福祉課と共催している。																														
実績	<table><tr><td>対象者</td><td colspan="3">介護サービスを受けていない 60 歳以上の町民</td></tr><tr><td>参加者数</td><td colspan="3">南部地区：33 名（延べ 277 名） 福地地区：35 名（延べ 293 名） 名川地区：61 名（延べ 470 名）</td></tr><tr><td>開催回数</td><td colspan="3">合計 36 回（12 回/1 地区）</td></tr><tr><td>開催期間 及び 会 場</td><td colspan="3">【第 1 回】平成 28 年 5 月～7 月 会場：ぼたんの里（南部地区） 【第 2 回】平成 28 年 9 月～11 月 会場：福寿館（福地地区） 【第 3 回】平成 29 年 1 月～3 月 会場：名川 B&G 海洋センター（名川地区）</td></tr><tr><td>事業内容</td><td colspan="3">介護予防運動、歩行指導、筋力トレーニング、ストレッチング、リズム体操、レクリエーション、ニュースポーツ（グラウンドゴルフ、カローリング）、各種講話（保健・栄養指導等）、骨密度・筋肉量計測</td></tr><tr><td>講 師</td><td colspan="3">運動指導士 2 名、保健師 3 名、栄養士 1 名 計6名</td></tr><tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">※150 千円（講師謝礼、保険料）</td></tr></table>			対象者	介護サービスを受けていない 60 歳以上の町民			参加者数	南部地区：33 名（延べ 277 名） 福地地区：35 名（延べ 293 名） 名川地区：61 名（延べ 470 名）			開催回数	合計 36 回（12 回/1 地区）			開催期間 及び 会 場	【第 1 回】平成 28 年 5 月～7 月 会場：ぼたんの里（南部地区） 【第 2 回】平成 28 年 9 月～11 月 会場：福寿館（福地地区） 【第 3 回】平成 29 年 1 月～3 月 会場：名川 B&G 海洋センター（名川地区）			事業内容	介護予防運動、歩行指導、筋力トレーニング、ストレッチング、リズム体操、レクリエーション、ニュースポーツ（グラウンドゴルフ、カローリング）、各種講話（保健・栄養指導等）、骨密度・筋肉量計測			講 師	運動指導士 2 名、保健師 3 名、栄養士 1 名 計6名			事 業 費	※150 千円（講師謝礼、保険料）		
対象者	介護サービスを受けていない 60 歳以上の町民																														
参加者数	南部地区：33 名（延べ 277 名） 福地地区：35 名（延べ 293 名） 名川地区：61 名（延べ 470 名）																														
開催回数	合計 36 回（12 回/1 地区）																														
開催期間 及び 会 場	【第 1 回】平成 28 年 5 月～7 月 会場：ぼたんの里（南部地区） 【第 2 回】平成 28 年 9 月～11 月 会場：福寿館（福地地区） 【第 3 回】平成 29 年 1 月～3 月 会場：名川 B&G 海洋センター（名川地区）																														
事業内容	介護予防運動、歩行指導、筋力トレーニング、ストレッチング、リズム体操、レクリエーション、ニュースポーツ（グラウンドゴルフ、カローリング）、各種講話（保健・栄養指導等）、骨密度・筋肉量計測																														
講 師	運動指導士 2 名、保健師 3 名、栄養士 1 名 計6名																														
事 業 費	※150 千円（講師謝礼、保険料）																														
成果	前年度より、3 地区（南部・福地・名川）在住者限定での募集・実施を見直し、広報を通じて全地区から募集した。それにより、年間の運動指導を希望する参加者が増加し、より多くの高齢者に対し長期にわたる運動や、健康に関する学習の機会を提供した。																														
評価と方向性	広報による全町への周知により多くの参加募集があり、また、参加者の口コミや友人知人等への紹介・勧誘もあり、名川地区開催分においては申込者が初めて 60 名を超えるなど、大変好評を頂いている。人数増加により会場設備の限定や運動メニュー等課題はあるが、ニュースポーツ移動教室への参加も含めて関係各所と連携し、参加者の期待に沿えるよう引き続き拡充・充実していく。																														

水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム		事業の評価	◎												
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B												
概要	夏に偏りがちな「水」に親しむ体験活動を、年間を通じて体験できるよう、自然環境、水生生物、安全学習、海洋性レクリエーション等のテーマから、導入校ごとにプログラムを選択し実施する。														
実績	<table><tr><td>対象者数</td><td>福 田 小 学 校 : 4 学 年 31 名 名 久 井 小 学 校 : 4 学 年 25 名 名 川 南 小 学 校 : 1・2 学 年 12 名 3・4 学 年 11 名 5・6 学 年 10 名 南 部 小 学 校 : 4 学 年 15 名</td></tr><tr><td>開催回数</td><td>福 田 小 学 校 : 5 回 名 久 井 小 学 校 : 7 回 名 川 南 小 学 校 : 10 回 南 部 小 学 校 : 1 回</td></tr><tr><td>開催期間</td><td>平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月</td></tr><tr><td>開催場所</td><td>・福 田 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川 B & G 海洋センタープール ・名 久 井 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川 B & G 海洋センタープール ・名 川 南 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、小川原湖（東北町 B&G 海洋センター艇庫） ・南 部 小 学 校 如来堂川</td></tr><tr><td>事業内容</td><td>さけ稚魚放流体験、さけ採卵体験、源流探検、水棲生物採取、釣り体験、空き缶炊飯体験、マリンキャンドルづくり、水辺の安全教室（カヌー体験、着衣泳、ライフジャケット浮遊体験、他）</td></tr><tr><td>事業費</td><td>21千円（消耗品）</td></tr></table>			対象者数	福 田 小 学 校 : 4 学 年 31 名 名 久 井 小 学 校 : 4 学 年 25 名 名 川 南 小 学 校 : 1・2 学 年 12 名 3・4 学 年 11 名 5・6 学 年 10 名 南 部 小 学 校 : 4 学 年 15 名	開催回数	福 田 小 学 校 : 5 回 名 久 井 小 学 校 : 7 回 名 川 南 小 学 校 : 10 回 南 部 小 学 校 : 1 回	開催期間	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	開催場所	・福 田 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川 B & G 海洋センタープール ・名 久 井 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川 B & G 海洋センタープール ・名 川 南 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、小川原湖（東北町 B&G 海洋センター艇庫） ・南 部 小 学 校 如来堂川	事業内容	さけ稚魚放流体験、さけ採卵体験、源流探検、水棲生物採取、釣り体験、空き缶炊飯体験、マリンキャンドルづくり、水辺の安全教室（カヌー体験、着衣泳、ライフジャケット浮遊体験、他）	事業費	21千円（消耗品）
対象者数	福 田 小 学 校 : 4 学 年 31 名 名 久 井 小 学 校 : 4 学 年 25 名 名 川 南 小 学 校 : 1・2 学 年 12 名 3・4 学 年 11 名 5・6 学 年 10 名 南 部 小 学 校 : 4 学 年 15 名														
開催回数	福 田 小 学 校 : 5 回 名 久 井 小 学 校 : 7 回 名 川 南 小 学 校 : 10 回 南 部 小 学 校 : 1 回														
開催期間	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月														
開催場所	・福 田 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川 B & G 海洋センタープール ・名 久 井 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川 B & G 海洋センタープール ・名 川 南 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、小川原湖（東北町 B&G 海洋センター艇庫） ・南 部 小 学 校 如来堂川														
事業内容	さけ稚魚放流体験、さけ採卵体験、源流探検、水棲生物採取、釣り体験、空き缶炊飯体験、マリンキャンドルづくり、水辺の安全教室（カヌー体験、着衣泳、ライフジャケット浮遊体験、他）														
事業費	21千円（消耗品）														
成果	身近にある川や山といった屋外での体験的学習を通して、興味を抱くことで郷土への愛情を高めることができ、環境保全意識の向上が図られた。又、水辺の安全教室では、自分の命は自分で守るという自助意識を高める機会を提供することができた。														
評価と方向性	各プログラムにおいて、参加児童の学習意欲は非常に高く、積極性の向上にも繋がっている。現時点で、町内 4 校が当事業を導入しているが、現存のプログラム内容と回数を改善することで、他の小学校にも導入可能な募集を行い、関係事業所等の協力を得ながら引き続き事業を継続していく。														

B & G全国ジュニア水泳競技大会出場推進事業					事業の評価		○
(4) 多様な生涯スポーツの振興					総合評価		B
概要	全国の B&G 海洋センターにて日頃から水泳を練習している青少年を対象に、競技力の向上と参加者相互の連携と親睦を図ることを目的に開催される大会。青森県予選大会にてB & G財団が定める標準 記録を突破した当町代表選手 2 名を参加させた。						
実績	○ 開催日及び会場 8/20 東京辰巳国際水泳場						
	○ 事業費 35 千円 (旅費)						
	○ 結果 1 名入賞 (小学生男子 50m背泳ぎ 3 位)						
	参加状況	学校名	学年	性別	参加人数		
		名 久 井 小 学 校	6	男	1 名		
名 川 中 学 校		3	女	1 名			
合 計				2 名			
成果	全国大会での町内選手の活躍が広報等で紹介され、水泳競技の普及・振興の一助となった。また、全国の選手と競技・交流することで、水泳競技の楽しさを再認識するとともに、技術力向上に対する意欲の向上が図られた。						
評価と方向性	「スイマーの聖地」と言われる東京辰巳国際水泳場で、全国の多くの選手と競技・交流する貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加させていく。						

B＆Gスポーツ大会青森県大会推進事業				事業の評価		○
(４) 多様な生涯スポーツの振興				総合評価		B
概要	B＆G財団地域海洋センター青森県連絡協議会が主催する水泳大会に、町内児童生徒 12 名を参加させた。当町海洋センター職員 3 名が選手を引率するとともに、大会当日はスタッフとして従事。					
実績	○ 開催日及び会場	8/2	弘前市岩木B＆G海洋センタープール			
	○ 事業費	7千円	(有料道路通行料)			
	○ 結果	9名入賞	(うち個人優勝4種目)			
	参加状況	学校名	学年	性別	参加人数	
		福地小学校	4	男	1名	
		福田小学校	6	男	1名	
			4	女	1名	
		名久井小学校	6	男	1名	
		杉沢小学校	5	男	1名	
		南部小学校	6	女	2名	
		向小学校	1	女	1名	
		福地中学校	1	男	1名	
		杉沢中学校	2	男	1名	
		名川中学校	2	男	1名	
			3	女	1名	
合 計				12名		
成果	大会に参加することで、他市町村の選手と競技・交流し水泳競技の楽しさを再認識することができた。また、日々の練習の成果を発揮する機会となり、競技力の向上が図られた。					
評価と方向性	ほとんどの学校で1名の参加であった。多くの参加者を募るため、募集方法等について検討する。海洋性スポーツの振興と他市町村の選手と親睦を図る貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加させていく。					

小学校水泳教室		事業の評価	◎																							
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																							
概要	水や水泳をよく理解し、水泳に対する興味を持ってもらうとともに、泳力の向上を図るために、町内小学校から授業での水泳指導依頼があった場合に、B&G海洋センター職員が指導・助言などを行う。																									
実績	<table><tr><td rowspan="3">対 象 者</td><td>名川南小学校：5,6年生</td><td>10名</td></tr><tr><td>名久井小学校：全校生徒</td><td>147名</td></tr><tr><td>剣吉小学校：全校生徒</td><td>111名</td></tr><tr><td rowspan="3">開催回数</td><td>名川南小学校 全</td><td>3回</td></tr><tr><td>名久井小学校 全</td><td>12回</td></tr><tr><td>剣吉小学校 全</td><td>5回</td></tr><tr><td>開催期間</td><td colspan="2">6月～8月</td></tr><tr><td>開催場所</td><td colspan="2">名川B&G海洋センタープール</td></tr><tr><td>事業費</td><td colspan="2">— 円</td></tr></table>			対 象 者	名川南小学校：5,6年生	10名	名久井小学校：全校生徒	147名	剣吉小学校：全校生徒	111名	開催回数	名川南小学校 全	3回	名久井小学校 全	12回	剣吉小学校 全	5回	開催期間	6月～8月		開催場所	名川B&G海洋センタープール		事業費	— 円	
対 象 者	名川南小学校：5,6年生	10名																								
	名久井小学校：全校生徒	147名																								
	剣吉小学校：全校生徒	111名																								
開催回数	名川南小学校 全	3回																								
	名久井小学校 全	12回																								
	剣吉小学校 全	5回																								
開催期間	6月～8月																									
開催場所	名川B&G海洋センタープール																									
事業費	— 円																									
成果	参加校の教諭と連携し、児童の泳力に応じて楽しめるような指導を行い、中高学年においてはクロールの息継ぎ習得やフォーム修正、低学年においては、基本動作を取り入れたゲームをとおして水に親しむことが出来た。																									
評価と方向性	小学生において、主として1・2年生は担当教諭が指導し、3年生以上は、職員が泳力に応じて指導している。このことにより、水に慣れ親しむとともに泳力の向上を図ることができた。今後も、担当教諭と連携し、安全で楽しい水泳指導をとおして泳力の向上の一助となるよう継続していく。																									

第3回南部町駅伝競走大会		事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A
概要	1本のたすきを繋ぐことにより仲間との絆を深め、また、選手と応援する人の一体感、元気、感動を生み出し、スポーツの振興を図る。		
実績	参加チーム	○ 町内小学校 20チーム (向小3、名久井小4、南部小2、福田小4、剣吉小2、福地小2 名川南小1、岩手県山田町小学生チーム2※招待) ○ 三戸郡中学校 13チーム (名川中3、福地中3、三戸中2、五戸中3、南部中2) ○ 町内クラブ・地区対抗 5チーム 合計 38チーム	
	開催日	11/6	
	開催場所 及び コース概要	○開催場所 すば一くながわ（スタート及びフィニッシュ） ○コース概要 ●町内小学校の部 及び 町内クラブ・地域対抗の部 全5区間、約11km ※1周2.2kmの周回コース ※女子指定区間は第1区及び第2区 ●三戸郡下中学校の部 全5区間、約14km ※1周2.8kmの周回コース	
	事業費	331千円（需用費等） 参加料1チーム1,000円、計35,000円(3チーム分除く)	
	結果	●町内小学校の部 優勝：福地小Aチーム ●三戸郡下中学校の部 優勝：名川中Bチーム ●町内クラブ・地域対抗の部 優勝：あけぼの走友会チーム	
成果	小中学校の陸上競技の普及と児童・生徒の競技力向上が図れるとともに、各チームの連帯感が高められた。また、参加数が増加し、チーム間の交流が図られ、選手相互の親睦の一助となった。		
評価と方向性	毎年、多くのチームが参加し、陸上競技を通じて切磋琢磨・交流の場となっている。また、以前より交流のある岩手県山田町より毎年駅伝チームを当町に招待しており、自治体間交流の一助となっている。また、町内クラブのチームも参加しており、地域交流の場ともなっている。今後も安全面などに配慮しながら継続していく。		

第24回青森県民駅伝競走大会実行委員会補助金事業		事業の評価	◎																																																																																								
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																																																																																								
概要	青森県民駅伝競走大会南部町実行委員会に対して補助金を交付し、町内中学生以上の候補選手を選考し、強化練習や試走等を実施した。																																																																																										
実績	平成28年5月10日に南部町実行委員会を組織してから大会まで、約40回の練習会と3回の試走会を実施し、大会当日は、実行委員等計26名が選手をサポートした。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>所 属</th><th>男 (名)</th><th>女 (名)</th><th>合計 (名)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>福 地 中 学 校</td><td>9</td><td>2</td><td>11</td></tr> <tr><td>杉 沢 中 学 校</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>名 川 中 学 校</td><td>4</td><td>8</td><td>12</td></tr> <tr><td>南 部 中 学 校</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>青 森 山 田 高 校</td><td>2</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>八戸工業高等専門学校</td><td>3</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>岩手県福岡高校</td><td>2</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>八 戸 西 高 校</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>名久井農業高校</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>青 森 大 学</td><td></td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>亜 細 亜 大 学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>武蔵野学院大学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>駒 澤 大 学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>駿 河 台 大 学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>自衛隊体育学校</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>中学校 (講師)</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>スクールサポーター</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>はらだクリニック</td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>陸 上 自 衛 隊</td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>愛 三 工 業</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>35</td><td>17</td><td>52</td></tr> </tbody> </table> ○ 参加チーム数 40市町村 ○ 登録選手 15名 (男11名・女4名) ○ 候補選手 52名 (男35名・女17名) ○ 開催日 9/4 ○ 開催場所 青森市内 ○ 事業費 1,220千円 (実行委員会へ町補助金) ※うち県補助金:60千円) ○ 成績 総合 第5位 (町の部 第2位)			所 属	男 (名)	女 (名)	合計 (名)	福 地 中 学 校	9	2	11	杉 沢 中 学 校	1		1	名 川 中 学 校	4	8	12	南 部 中 学 校	3	1	4	青 森 山 田 高 校	2		2	八戸工業高等専門学校	3		3	岩手県福岡高校	2		2	八 戸 西 高 校	1		1	名久井農業高校	2	1	3	青 森 大 学		2	2	亜 細 亜 大 学	1		1	武蔵野学院大学	1		1	駒 澤 大 学	1		1	駿 河 台 大 学	1		1	自衛隊体育学校	1		1	中学校 (講師)	1		1	スクールサポーター	1	1	2	はらだクリニック		1	1	陸 上 自 衛 隊		1	1	愛 三 工 業	1		1	合 計	35	17	52
所 属	男 (名)	女 (名)	合計 (名)																																																																																								
福 地 中 学 校	9	2	11																																																																																								
杉 沢 中 学 校	1		1																																																																																								
名 川 中 学 校	4	8	12																																																																																								
南 部 中 学 校	3	1	4																																																																																								
青 森 山 田 高 校	2		2																																																																																								
八戸工業高等専門学校	3		3																																																																																								
岩手県福岡高校	2		2																																																																																								
八 戸 西 高 校	1		1																																																																																								
名久井農業高校	2	1	3																																																																																								
青 森 大 学		2	2																																																																																								
亜 細 亜 大 学	1		1																																																																																								
武蔵野学院大学	1		1																																																																																								
駒 澤 大 学	1		1																																																																																								
駿 河 台 大 学	1		1																																																																																								
自衛隊体育学校	1		1																																																																																								
中学校 (講師)	1		1																																																																																								
スクールサポーター	1	1	2																																																																																								
はらだクリニック		1	1																																																																																								
陸 上 自 衛 隊		1	1																																																																																								
愛 三 工 業	1		1																																																																																								
合 計	35	17	52																																																																																								
成果	県外在住の選手も参加し、郷土のため選手・役員が一丸となり、練習や試走会を行うことができた。町の部2位となり町民に活力を与え、また、上位入賞することで、テレビ・ラジオ等で放送機会も多くなり、南部町のPRとスポーツの振興の一助となった。																																																																																										
評価と方向性	優勝もしくは上位入賞している大会であり、南部町の陸上競技の普及・振興が図られている。当町陸上競技の発展と、競技者のレベルアップ・士気高揚を図るため、今後も総合優勝を目指し、選手の育成・指導の充実を図っていく。																																																																																										

岩手県山田町マリンスポーツ体験交流会				事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興				総合評価	A
概要	町内小学生が一堂に会し、岩手県山田町の児童との交流を通じて人間形成と体力向上を図るとともに、心の豊かさを育てることを目的とする。岩手県山田町B＆G海洋センターの協力を得て、海洋性レクリエーション体験や水辺の安全学習などを実施している。				
実績	東日本大震災以降、休止状態となっていたが、山田町B＆G海洋センター艇庫復旧に伴い、5年ぶりに交流事業を再開した。				
	○ 開催日 7/27.28				
	○ 開催場所 岩手県山田町B＆G海洋センター艇庫 岩手県陸中海岸青少年の家				
	○ 対象 町内小学生 3年生から 6年生までの男女				
	○ 参加者 15名				
	○ 事業費 58千円（旅費・報償費）				
	参加状況	学校名	学年	性別	参加人数
		名川南小学校	4	女	3
		福 田 小 学 校	6	男	1
				女	1
			5	男	1
				4	男
			女		1
			名久井小学校	5	女
		剣 吉 小 学 校	4	女	1
3			1		
福地小学校		5	男	1	
杉 沢 小 学 校		6	男	1	
		5		1	
合計			15名		
成果	岩手県山田湾での海洋性レクリエーションや水辺の安全教室をととして、児童は海の楽しさや危険な部分を肌で感じ、水難に対する自助意識を養うことができた。また、宿泊での団体行動や山田町の子どもたちとの交流により、団体において仲間への思いやりの心を養う機会を提供できた。				
評価と方向性	海がない町に住む子供たちにとって貴重な経験であるため、今後も継続して心身を養う機会を提供していきたい。夏休み期間は、学校行事や部活、小学生を対象にしたイベント等が多いためか参加者が 30名に満たない状況である。チラシやポスター等での情報の周知や各学校への働きかけを行い、参加者の増加を図る。				

ニューススポーツフェスティバル		事業の評価	◎																																																										
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																																																										
概要	ニューススポーツを通して地域住民の健康維持・増進を図るとともに、ニューススポーツに親しみ、各地区との交流、仲間づくりが推進され普及することを目的に実施している。																																																												
実績	○日 時 1/15 ○会 場 南部町名川B&G海洋センター ○内 容 ①キンボール ②スポーツ吹き矢 ③カローリング ○参加資格 南部町民 (中学生以上) ○参加者 30名 ○参加料 100円 (保険料) ○協力 南部町スポーツ推進委員 6名 南部町スポーツ指導員 7名 合計 13名 ○事業費 208千円 (報償費、消耗品費) <table border="1"> <thead> <tr> <th>参加状況</th><th>地区名</th><th>性別</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="21"></td><td rowspan="2">剣吉荒町</td><td>男</td><td>2</td></tr> <tr> <td>女</td><td>1</td></tr> <tr> <td rowspan="2">杉沢</td><td>男</td><td>2</td></tr> <tr> <td>女</td><td>2</td></tr> <tr> <td rowspan="2">名川南</td><td>男</td><td>2</td></tr> <tr> <td>女</td><td>2</td></tr> <tr> <td rowspan="2">相内・諏訪ノ平</td><td>男</td><td>2</td></tr> <tr> <td>女</td><td>1</td></tr> <tr> <td rowspan="2">沖田面</td><td>男</td><td>2</td></tr> <tr> <td>女</td><td>1</td></tr> <tr> <td rowspan="2">大向</td><td>男</td><td>3</td></tr> <tr> <td>女</td><td>1</td></tr> <tr> <td rowspan="2">駅前</td><td>男</td><td>3</td></tr> <tr> <td>女</td><td>1</td></tr> <tr> <td rowspan="2">苦米地</td><td>女</td><td>1</td></tr> <tr> <td>男</td><td>3</td></tr> <tr> <td rowspan="2">沖通</td><td>女</td><td>3</td></tr> <tr> <td>男</td><td>3</td></tr> <tr> <td rowspan="2">あかね</td><td>男</td><td>3</td></tr> <tr> <td>女</td><td>1</td></tr> <tr> <td colspan="2">合計</td><td>30名</td></tr> </tbody> </table>			参加状況	地区名	性別	参加人数		剣吉荒町	男	2	女	1	杉沢	男	2	女	2	名川南	男	2	女	2	相内・諏訪ノ平	男	2	女	1	沖田面	男	2	女	1	大向	男	3	女	1	駅前	男	3	女	1	苦米地	女	1	男	3	沖通	女	3	男	3	あかね	男	3	女	1	合計		30名
参加状況	地区名	性別	参加人数																																																										
	剣吉荒町	男	2																																																										
		女	1																																																										
	杉沢	男	2																																																										
		女	2																																																										
	名川南	男	2																																																										
		女	2																																																										
	相内・諏訪ノ平	男	2																																																										
		女	1																																																										
	沖田面	男	2																																																										
		女	1																																																										
	大向	男	3																																																										
		女	1																																																										
	駅前	男	3																																																										
		女	1																																																										
	苦米地	女	1																																																										
		男	3																																																										
	沖通	女	3																																																										
		男	3																																																										
	あかね	男	3																																																										
		女	1																																																										
	合計		30名																																																										
成果	町広報及び町民運動会各地区監督への参加募集を通じて、30名の参加者があった。従来の種目を変更して、新競技を導入し、参加者が楽しみながら他地区との交流を図る機会を提供することができた。																																																												
評価と方向性	ニューススポーツは誰でも楽しく簡単にできるもので、参加者は大変喜んでいて、町内の交流促進、健康維持にも繋がることから、今後は、ニューススポーツが普及し、総合優勝制の種目の一つになるよう検討しながら事業を継続していく。																																																												

第32回うぐいすマラソン大会		事業の評価	◎																																																												
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B																																																												
概要	町内唯一のマラソン大会として、体力に応じた男女種目別区分による 3km,5km,10km のコースを設定し、参加者の健康増進と相互の親睦・融和を目的に開催している。																																																														
実績	○ 対 象 者 健康で、所定の距離を完走できる者 ○ 申込者数 860 名 (平成 27 年度 841 名) ○ 参加者数 695 名 (平成 27 年度 707 名) うち町民参加者数 236 名 ○ 開 催 日 4/24 ○ 開催場所 ふくち運動公園多目的広場 ○ 事 業 費 470 千円 (需用費等) ○ 参加料 無 料 ○ 周知方法 町の広報誌とホームページに大会の開催を掲載 <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th><th>申込者 (名)</th><th>参加者 (名)</th><th>うち町民 (名)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 小学校 3 年生以下男子 3km</td><td>59</td><td>56</td><td>34</td></tr> <tr> <td>B 小学校 3 年生以下女子 3km</td><td>33</td><td>31</td><td>21</td></tr> <tr> <td>C 小学校 4～6 年生男子 3km</td><td>90</td><td>76</td><td>46</td></tr> <tr> <td>D 小学校 4～6 年生女子 3km</td><td>56</td><td>46</td><td>34</td></tr> <tr> <td>E 中学生男子 3km</td><td>25</td><td>20</td><td>17</td></tr> <tr> <td>F 中学生女子 3km</td><td>26</td><td>16</td><td>13</td></tr> <tr> <td>G 高校・一般男子 3km</td><td>42</td><td>25</td><td>9</td></tr> <tr> <td>H 高校・一般女子 3km</td><td>16</td><td>10</td><td>3</td></tr> <tr> <td>I 高校・一般男子 5km</td><td>94</td><td>70</td><td>3</td></tr> <tr> <td>J 高校・一般女子 5km</td><td>25</td><td>20</td><td>2</td></tr> <tr> <td>K 高校・一般男子 10km</td><td>258</td><td>205</td><td>14</td></tr> <tr> <td>L 高校・一般女子 10km</td><td>39</td><td>30</td><td>0</td></tr> <tr> <td>M 誰でも参加 (計測なし) 3km</td><td>97</td><td>90</td><td>40</td></tr> <tr> <td>計</td><td>860</td><td>695</td><td>236</td></tr> </tbody> </table>			コース	申込者 (名)	参加者 (名)	うち町民 (名)	A 小学校 3 年生以下男子 3km	59	56	34	B 小学校 3 年生以下女子 3km	33	31	21	C 小学校 4～6 年生男子 3km	90	76	46	D 小学校 4～6 年生女子 3km	56	46	34	E 中学生男子 3km	25	20	17	F 中学生女子 3km	26	16	13	G 高校・一般男子 3km	42	25	9	H 高校・一般女子 3km	16	10	3	I 高校・一般男子 5km	94	70	3	J 高校・一般女子 5km	25	20	2	K 高校・一般男子 10km	258	205	14	L 高校・一般女子 10km	39	30	0	M 誰でも参加 (計測なし) 3km	97	90	40	計	860	695	236
コース	申込者 (名)	参加者 (名)	うち町民 (名)																																																												
A 小学校 3 年生以下男子 3km	59	56	34																																																												
B 小学校 3 年生以下女子 3km	33	31	21																																																												
C 小学校 4～6 年生男子 3km	90	76	46																																																												
D 小学校 4～6 年生女子 3km	56	46	34																																																												
E 中学生男子 3km	25	20	17																																																												
F 中学生女子 3km	26	16	13																																																												
G 高校・一般男子 3km	42	25	9																																																												
H 高校・一般女子 3km	16	10	3																																																												
I 高校・一般男子 5km	94	70	3																																																												
J 高校・一般女子 5km	25	20	2																																																												
K 高校・一般男子 10km	258	205	14																																																												
L 高校・一般女子 10km	39	30	0																																																												
M 誰でも参加 (計測なし) 3km	97	90	40																																																												
計	860	695	236																																																												
成果	三八地域のみならず県内外から多くの参加者があり、南部町のPRになるとともに、町民と他市町村選手との交流、スポーツ振興の一助となった。																																																														
評価と方向性	町内唯一のマラソン大会であり、町内外から多くのランナーが参加する大会であるため、広く南部町をPRできる。今大会から企業2社 (ユニバース、サントリーフーズ) からスポーツドリンクの協賛を得るなど、今後も大会運営に工夫を凝らし継続していく。																																																														

より安全、安心のおいしい給食を目指す。		事業の評価	◎
		総合評価	B
概要	学校給食衛生管理基準および大量調理マニュアルを遵守し調理を行った。		
実績	1 学校給食衛生管理基準および大量調理マニュアルの遵守を徹底させるため、委託業者に「学校給食調理従事者研修マニュアル（平成24年3月・文科省）」「洗浄・消毒マニュアル part I、part II（平成21年3月、平成22年3月・文科省）」「衛生管理&調理技術マニュアル（平成23年3月・文科省）」「学校給食調理場における手洗いマニュアル（平成20年3月・文科省）」を活用した衛生管理を行うよう要請した。 2 月に1回、南部町産の野菜の放射性物質測定検査を行い、安全を確認した。 3 給食センター見学を実施し、衛生管理に留意した作業工程を見学してもらうことで、喫食者に「安心」してもらえるよう心がけた。		
成果	安全で安心な給食の供給ができた。		
評価と方向性	衛生管理体制の維持のために、衛生管理研修会の内容をさらに充実させるよう、努めていく。		

給食センター関係 No.5 3

栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかる。		事業の評価	○
		総合評価	B
概要	学校給食摂取基準の考え方に基づいた栄養管理を行い、何をどれくらい食べたらよいかといった自分にあった適量を知る「食の自立」を目指した食育を行う。		
実績	1 南部町学校保健白書のデータをもとに、児童生徒の実情に合った栄養管理を実践した。		
	給食センター見学への対応	町内小学校：4回	
	食育授業による栄養指導	町内小学校5校：31回	
	健康面談	実施なし	
	就学時児童への給食説明 及び試食会	実施なし	
	バイキング式給食	町内小中学校10校10回 幼稚園・保育所 実施なし	
	栄養士の共同購入選定会議	郡内開催年6回	
	栄養士の研修会・講習会	県内開催年9回	
成果	給食を生きた教材として活用し、各学校と連携を密にして児童生徒の実態把握に努め指導した結果、生活習慣病予防における県の取組み「あおもり型給食コンセプト」（「塩分ひかえめ」「野菜たっぷり」「あぶらほどよく」「ごはんしっかり」「あおもりに感謝」）を周知させ、意識の向上を図ることができた。		
評価と方向性	今後も各学校と連携を密にして、児童生徒の実態に沿った栄養管理を行い、健康な体づくりを担う食育を進める。		

手作りの料理を心がける。		事業の評価	○
		総合評価	B
概要	食材の切り方や盛り付け後の配色に工夫を凝らし可能な限り手作り感のある給食にする。		
実績	食欲が増すような彩りや、素材そのものの味を引き出せるような調理の工夫に努めた。 野菜を生で供給できる「微酸性電解水生成装置」を活用し、生野菜を取り入れた給食の供給を行った。		
成果	手作り感のある給食が提供できた。		
評価と方向性	家庭の食事に近いスタイルとすることで、給食が食事の見本となる「生きた教材」となりうることを周知する。		

給食センター関係 №55

伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。		事業の評価	○
		総合評価	B
概要	伝統食、郷土食（青森県の主要野菜であるながいも、ごぼう、だいこん、にんじんなどを使用）および青森県産品を取り入れた給食を供給する。		
実績	食育月間（6月・11月）には、季節にあわせた伝統食・郷土食材を取り入れた給食の供給に努めた。		
	伝統食	せんべい汁・菊のり味噌汁・たら汁・すき昆布煮	
	町郷土食材	さくらんぼ・りんご	
	年間を通して実施しているが、食育月間（6月・11月）には「ふるさと産品の日」を実施している。		
成果	給食時間に、特産品や食材の栄養価等を紹介するための「放送資料」を活用してもらうことで、伝統食・郷土食の周知を図ることができた。		
評価と方向性	家庭において伝統食は、近年食べる機会が少なくなっている。学校給食で伝統食・郷土食を取り入れることは郷土愛を育てることから、今後も継続して取り組んでいく。		

地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。		事業の評価	○
		総合評価	B
概要	地元の産物を活用した給食を供給することにより、地元農業への理解を深る。(郷土に誇りをもつ児童生徒を育成する。)		
実績	1 毎月配布している「給食だより」に当月使用する南部町産食材を掲載し、児童生徒および保護者への周知を図った。 2 食育指導において、給食で地元産食材を活用することで、給食を生きた教材として活用することができた。 3 食材産地別使用率 ・米穀は南部町(福地)産「つがるロマン」 100%使用 ・南部町産の食材の使用率 20.29% ・青森県産の食材使用率 47.44% ・国内産の食材使用率 27.73% ・その他(輸入品等)の食材使用率 4.54%		
成果	「心身の健康」、正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力「食品を選択する能力」、「感謝の心」といった食育の目標の達成に向けて取り組むことができた。		
評価と方向性	季節により野菜の値に変動が激しい。町内にある産直会の方々の協力により南部町産の食材を比較的安価に仕入れることができるが給食供給数に必要な量の確保に課題がある。地元農家の方々への周知拡大を図り、多くの方々からの協力が得られるようにする。		

教育委員会活動の状況

1 教育委員会委員構成

職 名	氏 名	任 期 期 間
教育長職務代理者	境 久 孝	H26.4.5 ~ H30.4.4 (H28.4.5 ~ H30.4.4)
委 員	佐 藤 俊 男	H26.4.5 ~ H30.4.4
委 員	宮 本 佳 悦	H25.3.16 ~ H29.3.15 (退任)
委 員	西 舘 た か	H27.3.16 ~ H31.3.15
委 員	山 田 和 彦	H29.3.16 ~ H33.3.15
教 育 長	山 田 義 雄	H24.4.1 ~ H29.1.9 (死亡により失職)
教 育 長	高 橋 力 也	H29.4.1 ~ H31.3.31

* 括弧は教育長職務代理者任期

2 教育委員会の活動概要

(1) 学校訪問

学校等の教育関連施設を訪問して教育現場の状況を把握する

小学校 4校、中学校 2校の学校訪問を実施

訪問月日	訪 問 校
H 2 8 年 9 月 2 1 日	杉沢小学校、福地小学校
H 2 8 年 1 0 月 1 9 日	南部小学校
H 2 8 年 1 1 月 1 6 日	杉沢中学校、南部中学校
H 2 8 年 1 2 月 2 1 日	名久井小学校

(2)会議・研修会

＊ 研修会等に参加し、委員としての幅広い見識(識見)を養う

開催月日	会 議・研 修 会 名	出 張 先	出席者数
7月14日 ～15日	三戸郡教育振興会教育委員研修会	岩手県大槌町	4人
11月9日	市町村教育委員長・教育長合同会議	青森市	1人
11月2日	郡教育委員秋季研修会	南部町	2人
1月20日	南部町立名川中学校・公開授業研究会	南部町	1人
1月31日	管内市町村教育委員会教育長・小中学校長会長・ 教育事務所合同会議	八戸市	1人
〃	青森県立高校教育改革推進計画地区意見交換会	八戸市	1人

(3)各種行事・大会等

* その他、下記の各種行事・大会に参加

開催月日	行事・大会名	開催月日	行事・大会名
4月7日	福地小学校入学式	10月15日	福地小学校学習発表会
4月7日	福田小学校入学式	10月15日	名川中学校文化祭
4月7日	杉沢小学校入学式	10月16日	福地中学校文化祭
4月7日	剣吉小学校入学式	10月16日	杉沢中学校祭
4月7日	名久井小学校入学式	10月16日	南部中学校文化祭
4月7日	名川南小学校入学式	10月19日	剣吉小学校学習発表会
4月7日	南部小学校入学式	10月22日	福田小学校学習発表会
4月7日	向小学校入学式	10月22日	杉沢小学校学習発表会
4月7日	福地中学校入学式	10月22日	向小学校学習発表会
4月7日	杉沢中学校入学式	10月23日	名川南小学校学習発表会
4月7日	名川中学校入学式	10月23日	南部小学校学芸会
4月7日	南部中学校入学式	12月3日	名久井小学校学習発表会
4月21日	南部町教育大会	12月2日	南部町中学生海外派遣事業報告会
4月24日	うぐいすマラソン大会	12月12日	名久井小学校学芸発表会
5月15日	名川中学校体育祭	1月8日	南部町成人式
5月15日	南部中学校体育祭	2月4日	町文化賞・スポーツ賞授与式
5月15日	福地中学校体育祭	2月11日	南部地方えんぶり
5月15日	南部小学校運動会	2月22日	郡教育振興会定期総会
5月21日	杉沢小・中学校区合同運動会	2月27日	名川中学校区交流地域ミニサミット
5月21日	福地小学校運動会	3月12日	名川中学校卒業式
5月21日	剣吉小学校運動会	3月12日	福地中学校卒業式
5月21日	南部小学校運動会	3月12日	南部中学校卒業式
5月22日	福田小学校運動会	3月11日	杉沢中学校卒業式
5月22日	名久井小学校運動会	3月17日	名久井小学校卒業式
5月22日	名川南小学校運動会	3月18日	福地小学校卒業式
5月22日	向小学校運動会	3月17日	福田小学校卒業式
6月17日	町小学校陸上競技記録会	3月17日	杉沢小学校卒業式
6月18日	三戸郡中学校体育大会開会式	3月17日	剣吉小学校卒業式
9月25日	南部七唄・七踊り全国大会	3月17日	向小学校卒業式
		3月17日	南部小学校卒業式
		3月17日	名川南小学校卒業式

3 教育委員会会議

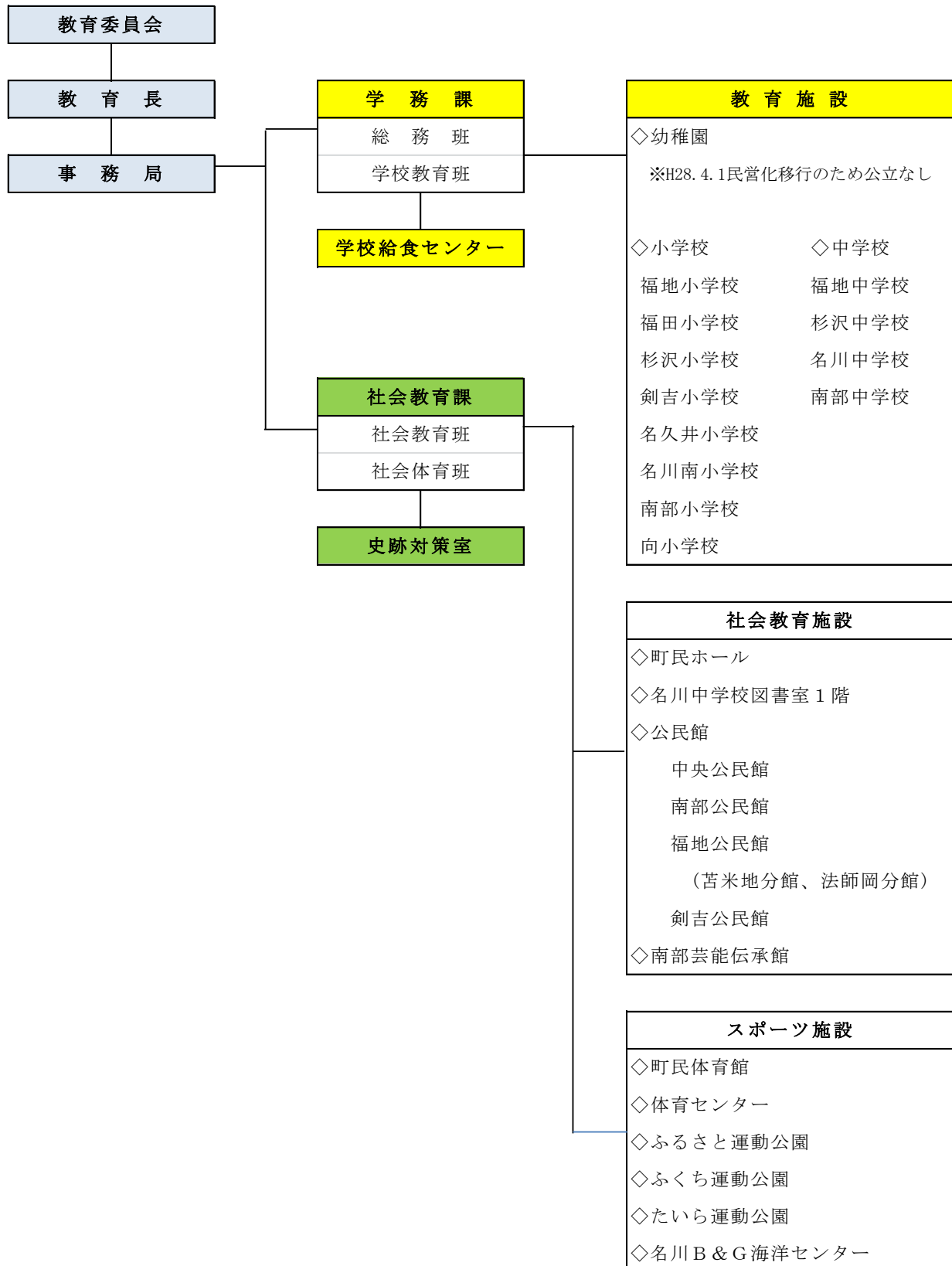
月 1 回開催の定例会

開催日	会議	議案番号等	案 件
H28 年 4 月 19 日	第 131 回	報告第 1 号 報告第 2 号 報告第 3 号 報告第 4 号 報告第 5 号 報告第 6 号 議案第 1 号	平成 28 年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成 28 年度通学区域外就学の承認について 平成 27・28 年度区域外就学の承諾について 南部町教育委員会事務局職員の人事異動について 平成 28 年度スクールサポーターの委嘱について 南部町学校医・学校薬剤師の委嘱について 南部町スポーツ推進委員の委嘱について
H28 年 5 月 18 日	第 132 回	報告第 7 号 報告第 8 号 報告第 9 号 報告第 10 号 議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号	平成 28 年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成 28 年度通学区域外就学の承認について 平成 28 年度区域外就学の承諾について 南部町教育支援委員会委員の委嘱について 南部町立学校給食センター運営委員の委嘱について 南部町社会教育委員の委嘱について 南部町文化財審議委員の任命について 南部町文化財の指定について 南部町公民館運営審議委員の委嘱について
H28 年 6 月 15 日	第 133 回	報告第 11 号 報告第 12 号 報告第 13 号 報告第 14 号 議案第 7 号	平成 28 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について 平成 28 年度南部町教育関係繰越明許費繰越計算書について 平成 28 年度南部町教育関係補正予算について 工事請負契約の一部を変更する契約の締結について (名久井小学校校舎大規模改修工事) 南部町奨学金の返還免除確定者について
H28 年 7 月 21 日	第 134 回	報告第 15 号 報告第 16 号	平成 28 年度教育支援委員会の判定について 南部町スポーツ指導員の委嘱について
H28 年 8 月 17 日	第 135 回	報告第 17 号 報告第 18 号 報告第 19 号	特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について 平成 28 年度区域外就学の承諾について 外国語指導員の再任用について
H28 年 9 月 21 日	第 136 回	報告第 20 号 報告第 21 号 報告第 22 号 報告第 23 号 報告第 24 号 報告第 25 号 報告第 26 号	平成 27 年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について 平成 27 年度南部町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について 平成 28 年度南部町教育関係補正予算について 平成 28 年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成 28 年度通学区域外就学の承諾について 平成 28 年度区域外就学の承諾について 学校評議員の委嘱について
H28 年 10 月 19 日	第 137 回	報告第 27 号 報告第 28 号 報告第 29 号 報告第 30 号 議案第 8 号	平成 28 年度要保護児童生徒の認定について 平成 28 年度通学区域外就学の承諾について 平成 28 年度区域外就学の承諾について 平成 28 年度教育支援委員会の判定について 南部町文化賞・南部町スポーツ賞表彰審査会委員の委嘱について
H28 年 11 月 16 日	第 138 回	報告第 31 号 報告第 32 号 議案第 9 号	平成 28 年度通学区域外就学の承諾について 平成 28 年度区域外就学の承諾について 南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書【H27 年度実績】について
H28 年 12 月 21 日	第 139 回	報告第 33 号 報告第 34 号 報告第 35 号 報告第 36 号 報告第 37 号 議案第 10 号	平成 28 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について 平成 28 年度区域外就学の承諾について 平成 28 年度通学区域外就学の承諾について 平成 28 年度南部町教育支援委員会の判定について 平成 28 年度南部町教育関係補正予算について 南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
H29 年 1 月 18 日	第 140 回	報告第 38 号 報告第 39 号 議案第 11 号	平成 28 年度区域外就学の承諾について 平成 28 年度通学区域外就学の承諾について 平成 28 年度南部町文化賞・スポーツ賞被表彰者について

開催日	会議	議案番号等	案 件
H29 年 2 月 22 日	第 141 回	報告第 40 号 報告第 41 号 報告第 42 号 議案第 12 号 議案第 13 号	平成 28 年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成 28 年度区域外就学の承諾について 平成 28 年度通学区区域外就学の承諾について 教育財産（土地）の取得の申し出について 史跡聖寿寺館跡案内所条例の制定について
H29 年 3 月 15 日	第 142 回	報告第 43 号 報告第 44 号 報告第 45 号 報告第 46 号 議案第 14 号 議案第 15 号 議案第 16 号 議案第 17 号 議案第 18 号 議案第 19 号	平成 28 年度南部町教育関係補正予算（第 5 号）について 平成 28 年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成 29 年度南部町教育関係当初予算について 平成 29 年度南部町学校給食センター特別会計当初予算について 南部町文化財の指定について 南部町聖寿寺館跡案内所条例施行規則の制定について 平成 29 年度南部町教育方針について 平成 29 年度南部町教育大会について 県費負担教職員の人事異動について 南部町教育委員会事務局の人事異動について

教育委員会事務局の組織の状況

1 教育委員会機構図



2 教育委員会事務分掌

● 学 務 課

【総 務 班】

教育委員会の会議に関すること。
教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関すること。
公印の保管に関すること。
文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。
教育予算の編成及び執行に関すること。
県費負担職員の任免その他人事に関すること。
学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
教育財産の管理に関すること。
教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。
基幹統計及び教育に係る調査その他の統計に関すること。
県教育委員会その他の関係機関との連絡調整に関すること。
他の班の所掌に属しない事務に関すること。

【学校教育班】

校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
学校施設台帳の整備保管に関すること。
教育内容及びその取扱いに関すること。
教科用図書の採択並びに給与に関すること。
学習効果の評価に関すること。
校長及び教員その他教育関係職員の研修に関すること。
校長及び教員その他教育関係職員並びに児童、生徒の安全厚生及び福利に関すること。
学校給食に関すること。
児童及び生徒の就学に関すること。
学校保健に関すること。
学校図書館に関すること。
義務教育費国庫負担事務に関すること。
学校の産業教育、理科教育及びへき地教育の振興に関すること。
幼稚園に関すること。
児童及び生徒の交流に関すること。
奨学金に関すること。
その他学校教育に関すること。

●社会教育課

【社会教育班】

公民館その他社会教育機関の設置、管理及び廃止に関する事。
社会教育委員、公民館運営審議会及び文化財審議委員に関する事。
各種教室及び学級その他社会教育講座に関する事。
社会教育関係団体の指導育成に関する事。
社会教育資料の刊行及び配布並びに情報の交換、調査研究に関する事。
文化財の保護に関する事。
郷土芸能の伝承に関する事。
社会教育のために必要な設備、機材及び資料の提供に関する事。
ユネスコ活動に関する事。
コミュニティーに関する事。
ボランティアに関する事。
青少年教育に関する事。
青少年健全育成に関する事。
家庭教育に関する事。
婦人教育に関する事。
男女共同参画事業に関する事。
生涯学習推進事業に関する事。
文書の収受、発送、管理、保存及び廃棄に関する事。
その他社会教育に関する事。

【社会体育班】

体育・スポーツの振興に関する事。
スポーツ推進委員に関する事。
体育関係団体の指導育成に関する事。
体育施設の管理運営及び整備に関する事。
運動公園の管理運営及び整備に関する事。
町民運動会に関する事。
スポーツ教室及びスポーツ大会に関する事。
その他社会体育に関する事。

【史跡対策室】

南部氏関連城館整備検討委員会に関する事。
南部氏史跡整備検討委員会に関する事。
国指定史跡「聖寿寺館跡」保存管理に関する事。
南部氏史跡の公有化に関する事。
南部氏史跡発掘調査に関する事。
南部氏史跡整備基本構想策定に関する事。
南部氏史跡整備及び活用に関する事。
南部氏史跡の周知に関する事。

南部氏の文献調査及び研究に関すること。
南部氏史跡対策室の経理事務に関すること。

3 教育関係予算の状況(決算)

(単位:千円)

款	項	目	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
教育費	教育総務費	教育委員会費	758	949	862	1,049	828	944
		事務局費	157,796	193,774	151,533	160,065	146,402	211,748
		小計	158,554	194,723	152,395	161,114	147,230	212,692
	小学校費	学校管理費	85,901	79,726	97,366	82,497	250,356	270,371
		教育振興費	30,977	20,018	19,864	19,534	15,060	14,578
		小計	116,878	99,744	117,230	102,031	265,416	284,949
	中学校費	学校管理費	46,349	56,201	70,772	54,654	58,725	54,058
		教育振興費	17,671	18,851	17,710	18,496	12,929	14,329
		小計	64,020	75,052	88,482	73,150	71,654	68,387
	幼稚園費	幼稚園管理費	45,285	32,767	32,516	17,860	20,366	314
		教育振興費	5,026	5,051	5,647	6,515	41,780	71,157
		小計	50,311	37,818	38,163	24,375	62,146	71,471
	社会教育費	社会教育総務費	70,400	69,386	67,398	67,981	56,807	64,415
		公民館費	22,656	31,735	43,285	42,810	58,286	26,350
		社会教育施設費	10,765	11,758	12,601	12,481	12,659	12,781
		文化財保護費	28,839	16,990	32,660	47,933	28,379	119,689
		小計	132,660	129,869	155,944	171,205	156,131	223,235
	保健体育費	保健体育総務費	56,734	56,849	49,287	53,636	52,086	47,230
		保健体育施設費	72,181	76,631	51,925	39,842	66,653	48,883
		保健体育施設整備費	—	—	—	—	—	—
		小計	128,915	133,480	101,212	93,478	118,739	96,113
	給食センター費	給食センター費	103,825	104,574	94,609	141,737	95,062	96,097
		小計	103,825	104,574	94,609	141,737	95,062	96,097
	合計		1,155,270	755,163	775,260	748,035	767,090	1,052,944
対前年比			0.65	1.03	1.03	0.96	1.03	1.37

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立福地小学校

校長 油 布 一 之

活動名称 (テーマ)	共に学び、かかわり合いながら、豊かな心と夢をはぐくむ福地っ子プラン
事業の効果	1 地域とのかかわりをよりどころとした体験的・協力的・参加的な学習を通して、特色ある教育活動（人権教育の推進・「少年消防クラブ」活動・異年齢集団の交流）の充実を図り、豊かな心や夢をはぐくむことができた。 2 米作り体験、野菜作り体験、昔の遊び体験、茶道体験などの様々な体験を通して、総合的な学習の時間（わくわくタイム）の充実を図り、地域に進んでかかわろうとする気持ちが育った。
実施月日	実 施 内 容
5月11日 2月9日 4月10日 9月9日 7月25日	1 特色ある教育活動 ① 人権教育の推進（ふるさとを考える体験活動） ・人権集会（心を温かくする言葉を集めよう・一年間を振り返ろう） ② 「少年消防クラブ」活動の推進 ・春の防火パレード参加・軽可搬ポンプ操法披露（名川秋まつり） ・消防クラブ研修会（合宿）参加 ③ 縦割り班による集会活動の充実 ・七夕集会（7月7日）・つなひき大会(12月7日)・豆まき集会（2月1日）
5月27日 6月27日 1月27日 5月17日 ～11月19日 5月11日 ～6月28日 1月24日 6月27日 ～1月22日	2 生活科と総合的な学習の時間「わくわくタイム」における体験活動の充実 ① 遺跡の発掘体験「ふるさとの歴史を知ろう」（6年） ・縄文土器作り体験 ・聖寿寺館跡発掘体験 ② 「福地原産ふくちホワイトのことを調べよう」（3年） ・にんにく栽培の達人からの講話 ③ 米作り体験「田んぼを借りて米作りをしよう」（5年） ・米作り農家の方の作業小屋での育苗体験 ・田植え体験 ・稲刈り、脱穀、精米体験 ・福地特産品祭りにて販売体験 ④ 野菜作り体験「野菜作り名人になろう」（1年・2年・3年・4年・5年） ・地域の野菜作り名人から野菜（ミニトマト・ピーマン・サツマイモ・なす・とうもろこし・大豆・へちま・落花生）栽培の指導と体験 ⑤ 伝統遊びの会「昔の遊び」（1年） ・シルバークラブの人を招いて、わらないと昔の遊び体験 ・シルバークラブの方と机を並べての給食会 ⑥ 日本文化体験「茶道に親しもう」6回（全学年） ・畳の歩き方 ・畳の上でのお辞儀の仕方 ・抹茶と菓子の頂き方

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立福田小学校

校長 三 戸 盛 司

活 動 名 称 (テ ー マ)	意欲的で自立した子どもの育成
事業の効果	確かな学力の定着と、心身ともに健康な体づくりをめざし、「知・徳・体」の3つの観点から実践課題を明らかにし、その解決に向けて組織的・計画的に取り組むことによって、意欲的で自立した子どもの育成を図ることができた。 今年度は特に、「知」において、授業でのICTの活用に重点的に取り組むことができ、分かる授業の展開を進めることができた。 また、縦割り班での花の苗植えでは、植え方を教えあったり、上級生が下級生の面倒を見たりと、相手を思いやる場面が多々見られた。
実施年月日	実 施 内 容
2月	〈学び方を身につけて進んで学習に取り組む子の育成〉 ①八幡馬づくり ・3学年総合的な学習の時間に八幡馬の歴史について学んだり、八幡馬制作に取り組んだりすることで、郷土の伝統工芸を体験的に学ぶことができた。
2月	②えんぶり「えぼし」づくり ・4学年総合的な学習の時間に講師を招へいし、えんぶりの歴史について学んだり、「えぼし」制作に取り組んだりすることで、県南地方の伝統行事と伝統工芸を体験的に学ぶことができた。
6月～2月	③プロジェクター・プロジェクター台（ICT活用） ・授業で活用する資料や児童のノートをスクリーンに提示することができ、学習のねらいを深めるとともに、学習意欲の高揚を図ることができた。
6月～2月	④ブルーレイレコーダー（ICT活用） ・放送番組を録画し、授業で活用することにより、学習のねらいを達成し、学習内容の理解を深めることができた。また、ビデオで記録した活動の様子をディスクに記録保存することができ、次年度に活用することができる。
6月～2月	⑤ビデオカメラ（ICT活用） ・学校行事や教育活動での児童の様子を録画し、振り返りに活用することにより、より効果的に学習のまとめができた。また、活動の様子を記録し、蓄積することができた。
2月	⑥写真用紙 ・活動の様子を校内に掲示し、紹介した。
6月～2月	〈心の豊かな子・やさしく思いやりのある子〉 ⑥花いっぱい運動・縦割り班活動（学習園） ・1～6学年の縦割り班活動で、学習園での栽培活動を通して、豊かな人間関係の醸成と、植物を大切に育てる心を育てることができた。 ・寄贈された花の苗を縦割り班でプランターに植えることにより、異学年間の温かい交流ができた。また、卒業式に向けての環境づくりでは、球根を植え、育てることにより、卒業生への感謝の気持ちを高めることができた。

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立杉沢小学校

校長 竹 田 裕

活 動 名 称 (テ ー マ)	豊かな心，たくましい心を育てる教育活動
事 業 の 効 果	1 読書活動をととして，豊かな心を育む。 ・ 朝読書，読み聞かせをととして，いろいろな本に出合い，本に親しむことができた。読み聞かせのボランティアの方々とふれあいが温かい心を育むことにつながった。 2 体験活動をととして，自然やふるさとを大切に思う心を育む。 ・ 学校畑での農作業を通して，働くことのたいへんさ，自然の恵みへの感謝の気持ちをもつことができた。 ・ 保護者，地域の方々と交流（収穫祭，ふれあい活動，えんぶりなど）を通して，自分たちが見守られ，助けられていることに気付き，感謝の気持ちをもつことができた。 3 学習環境を充実させ，意欲を持たせる。 ・ 自らの考えを進んで発表し，授業に意欲的に取り組むことができた。
実 施 年 月 日	実 施 内 容
4 月～12 月 通年 5 月～11 月 12 月～2 月 通年	1 読書活動の推進 ① ボランティア（なんぶ読み聞かせの会）による読み聞かせ活動 火曜日の朝 8：00～8：10 12 回実施 ② 推薦図書の奨励 学年別推薦図書の奨励・図書祭りの実施 2 体験活動の充実 ① 学校農園での栽培活動の実施 学校全員でサツマイモ・ジャガイモを育てた。 ② 栽培した作物を使つての収穫祭・調理の実施 収穫したイモを自分たちで調理して，保護者・地域の方にふるまった。地域の方々と昔の遊びを楽しんだ。 ③ えんぶり学習の実施 地域の方に指導をいただきながら，全校児童が役割を担って，えんぶりの発表を行った。（校内発表会，長老園訪問，福地地区芸能・文化祭） 3 学習環境の整備 ① 実物投影機等を使った授業

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立剣吉小学校

校長 中 村 大 安

活 動 名 称 (テーマ)	児童の学習効果を上げるための学習環境整備
事業の効果	1 授業で実物投影機を活用することにより、意識を集中させたり、言葉での指示を映像で補ったりすることができた。児童は、指示の意味理解が進み、学習にも取り組みやすくなった。 2 相撲大会を開催するにあたり、講師を招いて保護者へまわしの締め方や相撲の礼法などを教えてもらった。当日は、保護者の協力を得ながら大会を進めた。 3 名久井農業高校の生徒と長坂下環境保護隊の方々の協力を得て、様々な活動に取り組んだ。児童は、それらの方々の専門的な知識や技能を教えていただくことができた。また、地域方々とのコミュニケーションも深めることができた。豊かな心の育成につながる活動であった。
実施年月日	実 施 内 容
5月 9日	4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（受粉）
5月 25日	5年生と長坂下環境保全隊の方々との農業体験学習（田植え）
6月 14日	3年生と名久井農業高等学校生徒との花植え（地域花いっぱい運動）
7月 15日	まわし締め講習会（講師：神代寿仁氏）
8月 25日	三戸郡よい歯の審査会
9月 26日	4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（シール貼り）
9月 30日	5年生と長坂下環境保全隊の方々との農業体験学習（稲刈り）
10月 24日	4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（収穫とまとめ）
10月 16日	5年生と長坂下環境保全隊の方々との収穫感謝祭
通 年	ITC機器の活用による授業改善と実践

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立名久井小学校

校長 塩谷 政 巳

活動名称 (テーマ)	自ら学び、自ら考え、主体的・協同的に取り組む能力と態度の育成
事業の効果	※今年度は校舎改修工事の関係で、農園や花壇として利用できる場所が狭まったのと、理科室や家庭科室などが利用できない期間が長かったため、ふるさと学習やエネルギー環境教育の推進にも影響があった。計画の変更や来年度への移行なども余儀なくされたが来年度は通常通り計画していきたい。 1 教育目標具現のための体験的活動への支援と環境整備の推進が図られた。 ①生活科、理科、総合的な学習の時間による農園活動では、南部町の主力産業である農業について考えたり体験したりすることができた。 ②地域の素材（施設・郷土料理）を生かして、見学や体験を通して、地域のよさを知り、ふるさとに対する愛着を増すことができた。 ③相撲大会を通じて、伝統と礼儀を重んじ日本古来の武道にふれることができた。 2 エネルギー環境教育を通して環境に対して意識を高揚させ、環境を保全しようとする気持ちを持たせることができた。
実施年月日	実 施 内 容
5月～12月 (通年)	1 ふるさと学習 ①農園活動；野菜を育てよう＜1～6年、あじさい・さくらんぼ学級＞ （ジャガイモ、さつまいも、ミニトマト、ヘチマ、なす、ピーマン等） ②目指せ食キング！＜3年＞（せんべい汁） ③如来堂川のなぞを探る＜4年＞ （源流さがし、水生生物の調査、鮭の採卵・人工授精・卵の飼育） ④相撲大会を成功させよう＜全校＞ （まわしかけ講習会、学年別個人戦男子の部・女子の部） ⑤南部手踊りを発表しよう＜手踊りクラブ＞（学習発表会） ⑥リンゴ栽培体験＜5年＞（受粉、摘果、収穫）～名久井農業高校の協力得て ⑦聖寿寺館跡発掘体験、名久井岳登山＜6年＞ ⑧花を育てよう～チューリップ、クロッカス
7月～1月 (通年)	2 エネルギー環境教育 ①環境授業 1年～ものを大切にしてゴミをへらそう 3年～環境にやさしい買い物のしかたを考えよう 6年～地球温暖化から省エネを考えよう「省エネゲーム」 ②ものづくり体験学習 2年～廃油からろうそくを作ろう→場所の関係で今年度は未実施 3年～懐中電灯を作ろう 4年～ロボコップ作り ③「エネルギーを考える日」12月13日実施 （1～4年：生活の中の電気、5・6年：手作りカイロの作製） ④科学体験活動のためのサイエンスワークショップコーナーの設置 →場所の関係で今年度は未実施

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立名川南小学校

校長 秋 山 政 子

活動名称 (テーマ)	地域の特性を生かした体験活動の推進
事業の効果	1 本校は、農業を生業とした、学区地域の皆様によって支えられている。児童の中にも、そうした意識を育てたくて、稲作を中心とした体験活動を行ってきた。 2 数年来の活動の推移からは、子どもたちとともに「変わらない」ことの困難さを感じている。地域の高齢化が進み、支援してくださる意欲に反して、一定の活動内容を「維持」することが難しくなってきたからである。稲作の活動内容を変えたり簡易化したりすることは、体験の目的が果たされなくなるということであり、悩ましい部分である。 3 そうした中実施した今年度の稲作では、田植えや稲刈りの仕方を教えていただく活動の中で相対的に子どもたちの役割が増え、自らが地域の一人であることをより実感することができた。 4 育てている稲を定期的に観察する活動を通して、植物の生長に関心をもつ児童が増えた。 5 「もちつき・そば打ち会」を行うことで、収穫できた喜びや自然及び協力していただいた方々に感謝する気持ちを養うことができた。
実施年月日	実 施 内 容
5 月 27 日	【田植え】 ・ 鳥谷、鳥舌内両老人クラブの方々7名、及び保護者の方々10名に指導・支援していただきながら、全校児童がもち米の苗を植えた。
6 月 14 日	【稲の観察】① 全校児童で、稲の成長を確認し、記録した。
7 月 21 日	【稲の観察】② 全校児童で、稲の成長を確認し、記録した。
9 月 29 日	【稲の観察】③ 全校児童で、稲の成長を確認し、記録した。
10 月 2 日	【稲刈り】 ・ 鳥谷、鳥舌内両老人クラブの方々5名、及び保護者の方々21名に指導・支援していただきながら、収穫した。 今年度は、階上町立小舟渡小学校児童との交流会を兼ね、85名で行い、盛況であった。バインダーの故障で一時作業が滞ったが、地域の方の協力で代替機を出していただき、事なきを得た。
11 月 4 日	【脱穀】 ・ 天日干しした米を、児童が足踏み脱穀機などを使い、昔の道具の学習もしながら、脱穀作業を行った。保護者・地区の方々9名の支援を得て、円滑に行えた。
12 月 4 日	【もちつき・そば打ち会】 ・ 地域の方々、来賓の方々を招待し、収穫祭を行った。児童も合わせ100名以上の方々が集い、楽しく交流を行った。 ・ 地区を回るバスを出すなど、参加を容易にする取り組みを続けているが、上記稲作活動を含めて、人数は減少傾向にある。活動を活発化するための方策を検討している。

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立向小学校

校長 芦 名 均

活動名称 (テーマ)	一人一人の子どもを生かす学校づくり
事業の効果	1 様々な学習活動において、自分の考えをもち、相手の考えと比べながら、わかりやすく伝えよう とする意識が高まってきた。 2 地域の指導者からナニヤドヤラを学ぶことによって、伝統文化を継承しようとする態度が育ってきた。 3 農作業体験を通して、勤労の尊さを感じながら、自然を大切にしていこうとする態度が育ってきた。
実施年月日	実 施 内 容
5 月	わかば学級・あゆみ学級「野菜を育てよう」 1、2年生生活科「ミニトマト・サツマイモを植えよう」 3年生総合的な学習「枝豆・キャベツを育てよう」 4年生理科「ヘチマを植えよう」
6 月～9 月	体力作りに活用（ヴォーテックスフットボール）
7 月	人権の花植え（プランター用の土）
6 月 13 日 ～7 月 1 日	全学年「ナニヤドヤラ学習」 （指導者：中村サヨ氏、沖田勝裕氏、工藤裕章氏、工藤恵之助氏、留目健樹氏）
7 月 1 日	全学年「ナニヤドヤラコンクール」 （優秀賞メダル、敢闘賞メダル）
10 月	学習発表会に活用（ネットワークCDプレーヤー）
6 月～3 月	各教科、領域での発表学習、学力向上実践事業に活用 （タイムタイマー・エプソンプリンター・スクリーン） 特別支援学級教育活動に活用（ソーシャルスキルかるた）
11 月上旬	1年生生活科「チューリップの球根を植えよう」 環境委員会「花壇を整備しよう」（球根90球）

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立南部小学校

校長 道 端 仁

活動名称 (テーマ)	豊かな心をはぐくむ体験活動や環境づくりの活動
事業の効果	1 多くの自然、地域、人と関わる多様な体験活動を行うことにより、自分たちが生活している郷土に誇りをもち、郷土を大切にしようとする気持ちや受け継いでいこうとする意欲が高まった。また、主体的に地域に関わっていこうとする態度が醸成された。 2 縦割り班活動を多く取り入れたことで、異学年の友達と助け合って活動する姿が多く見られた。また、自己記録に挑戦させることで、進んで運動に取り組む子どもが増えた。 3 図書室や校舎内外の環境整備が進み、学習環境の充実を図ることができた。 4 キャリアノートの活用により、自己を見つめたり友達とのかかわりについて考えたりすることができた。また、夢や希望をもって生活していこうという気持ちが育った。
実施月日	実 施 内 容
5月27日 5月～11月 11月21日 5月～11月 5月～10月 5月～12月 5月～9月 2月 3日 4月15日～12月9日 通年 5月6日・9月12日 11月25日 5月21日・8月11日 9月16日、2月14日 5月～11月 通年	1 自然体験・福祉体験・勤労生産体験等を取り入れた活動 ①自然体験活動の実施 縦割り班による野外炊事 ②農業体験活動の実施 教材園での栽培活動、専門家から学ぶ農業教室 食育学習 ③総合的な学習の時間の充実 1・2年 昔の遊び体験（けりごま） 3年 りんご作り作業体験学習 4年 地域の川の調査学習 5年 米作り作業体験学習 6年 南部町の歴史と文化財調査 全学年 伝統芸能鑑賞会（沖田面地区） 2. 豊かな心やたくましい体を育てるための活動 （1）読み聞かせボランティアによる活動 （2）読書活動の推進 （3）異学年交流活動の充実 ・クリーン作戦 ・縦割り班集会 （4）南部小「よさこいソーラン」の伝承 ・運動会や南部マフェスティバルでの発表 （5）業間活動（マラソン・縄跳びによる体力づくりの推進） ・校内マラソン大会、校内なわとび大会 3. 環境美化活動 （1）花いっぱい運動（花壇整備）、人権の花植え活動 （2）学習環境の充実 4. キャリア教育の推進 ○ 学年ごとにキャリアノートの活用（保護者との連携）

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立福地中学校

校長 志 賀 清

活 動 名 称 (テーマ)	「自ら学び、心豊かな生徒」を育む活動推進事業
事業の効果	地域の人材を活用し、地域の文化、自然環境に触れさせながら、教育目標である「自ら学び、自ら育つ生徒」「規律正しく、心豊かな生徒」の育成に努め、学校行事や体験活動の中で成果をあげた。 ① 体育祭では、マスコットのデザインと作成で生徒たちが工夫を凝らして作成した。応援合戦では、横断幕や手作りの準備物の活用をはかり、自分たちで考えた応援を披露した。 ② 夏季・秋季郡中体連壮行式では、各部の応援旗の作成を行った。また、応援委員会を中心とする応援活動を行った。取組を通じて、生徒一人一人の意識の中に、福地中学校を各自が支えることと、愛校心を育成することができた。 ③ 文化祭では地域の人材の活用を図り、えんぶりの発表を通して地域の文化を学び、生徒の心を豊かにすることができた。 ④ 立志式では、色紙の作成や自分の立志をしっかりと発表することで、自分を見つめ、将来の進路を考えることができた。 ⑤ 生物育成体験の「トマト・キュウリづくり」等を通して、生命の大切さを学び、育成する苦労と収穫の喜びを体験できた。
実施年月日	実 施 内 容
5月～10月 9月1～2日 12月～2月 5月2～14日 10月11～16日 1月13～27日 5月～2月	1 学習支援 ・学校農園野菜の栽培への支援 ・職場体験学習（2学年 職場訪問体験活動）への支援 ・総合的な学習の時間における作品製作の支援 2 行事支援 ・体育祭各軍応援旗やマスコットづくりなどへの活動支援 ・合唱コンクールや文化祭における発表への支援 ・立志式に伴う講演会、記念合唱、文集などへの支援 3 その他 ・校内装飾環境、校地内環境美化への支援

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立杉沢中学校

校長 高 橋 直 浩

活動名称 (テーマ)	杉中はぐくみプラン ～「彩深」個を認め合い、美しいハーモニーを奏でよう～
事業の効果	1 学校図書支援ボランティア活動の活性化を通して、生徒の積極的な図書室の活用が見られ、本校の教育目標「自ら考える生徒の」育成の一助となった。 2 元校長野村律子氏による全校合唱指導を実施するとともに、本澤博路氏につくっていただいた「桜シンフォニー」という曲を入学式と卒業式に本澤氏と生徒の代表によるギター伴奏で歌った。これらの活動に加え、ミニコンサートを実施し、ギターとピアノ、パーカッションの演奏を聴き、本校の目指す学校像④「元気な挨拶と音楽の溢れる学校」の目標達成の一助となった。 3 学校花壇を整備し、グラウンドの芝生の管理と土の部分の除草を行った。また、昨年1月の大雪により杉沢地区全体のシンボルである杉中桜のイルミネーションが断線し使用できなくなった。そのためLEDイルミネーションを購入した。これらの活動を通じて、環境の美化意識と地域を愛する気持ちが高められた。 4 学校だよりをカラー印刷して、地域住民に回覧することにより、学校や生徒の様子が地域に伝わり、地域とのつながりがより深まった。
実施年月日	実 施 内 容
①通年 不定期開催	①学校図書支援ボランティアによる図書室環境整備 ・ブックカバーの貼り付け作業や、バーコードによる書籍管理を行うこと で、図書の破損等が減り、図書室利用者が増加した。(ブックカバー購入)
②10/12 4/7、7/20 3/3、3/11	②音楽教育の充実 ・元校長 野村律子氏を講師に迎え、全校合唱を1回実施(講師謝礼) ・本澤博路氏と仲間2名によるミニコンサートを実施した。(講師謝礼) ・本澤博路氏による入学式・卒業式ソング指導(予行含む講師謝礼)、卒業式でのギター伴奏の実施(演奏者謝礼)
③7月～11月	③環境を整えて、豊かな心を養う。 ・学校花壇に花苗を植え、校舎前を華やかにした。グラウンドやテニスコートの除草を行った。(花苗、除草剤散布機、除草剤購入)
11/27	・イルミネーションを購入し、杉中桜に設置した。(LED購入)
④毎月 第1木曜日	④学校だよりをカラー印刷で月1回発行し、地域の回覧板にのせて回覧した。 (カラーコピー用トナー購入)

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立名川中学校

校長 高 橋 力 也

活動名称 (テーマ)	耕 頭 ～ 地域と共に学ぶ ～	
事業の効果	事業を通して、生徒に「郷土を愛する心」や「豊かな人間性や社会性」を育成することができた。 1. 郷土のよさを知り、地域の伝統を受け継ぐことで、郷土を愛する心を育成することができた。 2. 地域の人々との触れ合いや体験活動を通して、人間性を磨くと共に社会性を高めることができた。 3. 教科センター方式を生かした主体的な学習する態度を育成することができた。	
実施月日		実 施 内 容
1. 郷土理解学習 ①名川秋まつりへの参加 9/8 (木)、10 (土) ②文化祭や南部地方えんぶり、八戸えんぶりで、えんぶりを披露 文化祭 10/16 (日) 南部地方えんぶり 2/11 (土) 八戸えんぶり 2/17(金) 2. キャリア教育・学習支援 ①1年「えんぶり」 実施時間は、領収書添付用紙を参照 ②1年「いのちの大切さ講座」 10/21 (金) 3年「性教育講座」10/24 (月) ③3年表現・創作学習 実施時間は、領収書添付用紙を参照 3. 主体的な学習活動 ①社会科：世界の掛け図 ②生物育成学習 ③大判プリンタインク、メンテナンスボックス 授業・文化祭等での展示 通年		1. 郷土理解学習 ①全校生徒が名川秋まつりのお通り、お還りのパレード(ブラスバンド・名川中学校山車・各町内の山車等)に参加し町民とともにまつりを盛り上げた。 ②1 学年生徒が文化祭や南部地方えんぶり、八戸えんぶりでえんぶりを披露した。指導者の協力を得て、今年初めて全曲生歌によるえんぶりを披露した。 ・ 摺り始め、松の舞、大黒舞、恵比寿舞、田打ち代だし、苗取り、苗運び、田の草取り、休み餅稲取り、脱穀、俵積み、米つき、摺り納め 2. 全学年で総合的な学習の時間の中で、地域の方々から支援をいただきながら体験活動(1年「えんぶり」、3年「表現・創作活動」)を実施した。 ①1年総合「えんぶり」 郷土理解学習と同じ。 ②1年「いのちの大切さ講座」 ・ 命の重み、自分を大切にする気持ちを学んだ。 3年「性教育講座」 ・ 人の「生」と男女の「性」について学んだ。 ③3年総合 「表現・創作活動」 ・ サックス、三味線、名久井焼きを学び、文化祭で披露した。 ・ 商工観光交流課の協力を得て、郷土の食材を活用した達者村弁当のレシピづくりを行った ・ 山車制作 郷土理解学習と同じ。 3. 主体的な学習活動 ①世界の掛け図 メディアスペースを活用し、ビデオ教材を併用しながら主体的な学習活動を行った。 ②中庭や生徒玄関前を利用してきゅうりや草花の栽培体験学習を行なった。 ③大判プリンタインク、メンテナンスボックス 生徒活動のまとめを行い、文化祭やメディアスペースに展示し、主体的に学習できる環境づくりを行った。

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立南部中学校

校長 藤 澤 均

活 動 名 称 (テ ー マ)	「南中愛 ～ 志義 ～」
事 業 の 効 果	体育祭、合唱コンクール、文化祭、立志式などの主要な行事において本事業を活用した。生徒の自主的な取組による行事を推進すると共に、外部講師や関係機関と連携した豊かな体験活動を展開することで、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」が身についた生徒の育成を目指した。体育祭では3学年のリーダーシップのもと全校が一丸となって取り組む事ができた。合唱コンクールでは、学級全員が1つの目標に向かって団結し美しいハーモニーを目指して練習に取り組んだ。文化祭では、学習の成果をステージ発表や展示部門で発表することができた。とくに、3学年による演劇は感動的なものであった。立志式では、2年生一人一人がよりよい大人になるために生き方について決意を新たにした。以上のような取組によって生徒には主体性や自主自立などが身につき自己指導能力の向上が図られたと考える。
実 施 年 月 日	実 施 内 容
9月1日～2日 通年（6回） 5月15日 10月 8日 10月16日 1月27日 11月 8日 11月15日 4月～3月 不定期	1 学習支援 ・総合的な学習の時間（職場訪問）への支援 ・JRC活動（2学年幼稚園・保育園訪問）への支援 ・JRC活動（3学年老人ホーム、福祉施設訪問）への支援 ・美術教科指導への支援 2 行事支援 ・体育祭における景品・マスコット等の製作に係る消耗品代への支援 ・合唱コンクール歌唱指導への支援 ・文化祭ステージ発表等に係る制作材料代等への支援 ・立志式における講演会、記念色紙、記念文集等への支援 3. その他 ・英語弁論等文化的活動への支援 ・「いのちの大切さ」出前講座にともなう講演会等への支援 ・校内装飾環境、校内環境美化への支援 ・校外などでの集会時に利用するポータブルアンプ用ワイヤレスマイクの増設への支援

